

武豊町
公共交通に関する
アンケート調査結果

令和元年12月

<目次>

住民アンケート調査結果について	1
1 調査概要	1
(1) 実施概要	1
(2) 結果概要	2
2 調査結果	4
(1) 属性	4
(2) 外出（通勤・通学含む）の頻度や目的について	8
(3) 公共交通による移動について	18
(4) バス等の利用実態について	21
(5) コミュニティバスの事業実施効果について	25
(6) 武豊町の地域公共交通事業について	28
(7) コミュニティバス等を「まったく利用しない人」への設問	36
(8) 公共交通の転換見通しについて	39

住民アンケート調査結果について

1 調査概要

(1)実施概要

地域公共交通施策に対する住民のニーズと、地域公共交通の利用状況等を把握するため、住民向けアンケート調査を実施した。

○住民アンケート調査概要

調査対象	町内在住者で年齢階層毎に無作為に抽出
調査方法	郵送配布 郵送回収方式
調査期間	2019年11月8日(金)配布 11月18日(月)回収 (11月29日(金)到着分まで対応)
標本数 回収率	配布数：3,000票 回収数：1,165票 回収率：38.8%
アンケート 項目	問1：アンケート対象者の属性 問2：外出の頻度や目的 問3：日常の移動に対する意識 問4：利用実態と接続タクシーの認知度 問5：コミュニティバスの事業効果 問6：公共交通事業(バス)に対する意向(税負担等) 問7：利用しない人の理由と利用見通し 問8：公共交通への転換見通し
前回調査 (2013年)	○2013年11月 ○配布数：3,000票 ○回収数：1,510票 ○回収率：50.3%

(2)結果概要

○公共交通による移動・不便を感じているか（問3-1）（p18）

- ・日常の公共交通での移動に「不便」を感じている人の割合は、「感じている・やや感じている」が34.6%である一方、「あまり感じていない・感じていない」が54.3%となり、住民の過半数が、公共交通の移動に対して不便を感じていない。
- ・前回調査時点（2013年）では、「感じている・やや感じている」が30.7%、「あまり感じていない・感じていない」が60.8%であった。当時から現状のコミュニティバス事業を実施しており、移動環境は大きな変化がない中で、移動に不便を感じている割合が少し増えている回答となった。住民にとっては、既存の移動サービスが当たり前と感じ、より高いサービスを求める意識変化が起きている。

○公共交通（コミュニティバス）の利用実態（頻度）（問4-1）（p21）

- ・コミュニティバスの利用状況は、「ほとんど又は全く乗らない」との回答が81.9%存在する一方で、「年に数日」以上の利用者は、13.3%となった。
- ・前回調査時点（2013年）では、年に数日以上の利用者は8.2%であり、5.1%ポイントが増加した。
- ・わずかではあるが、コミュニティバスの利用が拡大している。

○コミュニティバスの事業実施効果について（問5-1（1））（p25）

- ・事業実施効果について、「便利になった」15.4%、「安心感が持てる」9.6%、「豊かになった」7.7%の割合で効果があったと回答している。「何も変わらない」との回答は45.9%であった。
- ・前回調査時点（2013年）では、「何も変わらない」との回答が56.4%であったため、10.5%の割合で、事業効果があったとの認識が良化した。

○コミュニティバス等の運行をきっかけとした外出機会の変化（問5-1（2））（p26）

- ・外出する機会の変化については、「機会が増えた」が3.7%、「何も変わらない」が67.0%となった。
- ・前回調査時点（2013年）では、「機会が増えた」が2.5%、「何も変わらない」が75.2%であったため、少し外出する機会が増えた形で変化している。

○コミュニティバス事業の事業見直しに対する意見（問6-1（1）） （p28）

- ・コミュニティバス事業の事業改善に対する意向については、「わからない」との回答が 37.3%と最も多い。（無回答と含めると 48.1%・約半数を占める）
- ・意思表示のあった回答としては、「青ルートの実行本数を減らし、赤ルートの本数を増やす」が 22.5%であり、投資を避ける意見が多い結果となった。

○接続タクシー事業の事業見直しに対する意見（問6-1（2）） （p29）

- ・接続タクシーの事業改善に対する意向としては、「わからない」との回答が 41.6%と最も多い。（無回答と含めると 51.0%・過半数を占める）
- ・意思表示のあった回答としては、「ルートの実止・見直しは賛成」が 38.0%選択され、見直しに対しては、賛成多数となった。

○税金投入額の水準に対する評価について（問6-3） （p34）

- ・税負担に対する評価については、「妥当」との回答が 60.1%で、住民の過半数が妥当と判断している。
- ・「多すぎる・やや多すぎる」を選択した人の割合は 16.2%、「やや少なすぎる・少なすぎる」は 10.0%となり、「多い」と判断する人の方が多い。
- ・前回調査時点（2013年）では、「妥当」が 61.6%、「多すぎる・やや多すぎる」が 23.5%、「やや少なすぎる・少なすぎる」が 4.7%であった。
- ・前回調査時点との比較では、「負担額が少ない」との割合が増加し、移動サービスに対する負担増に対して「理解を示す」傾向に変化している。

○現状公共交通を利用しない人の将来の利用転換見通しについて（問7-3）・（問8）

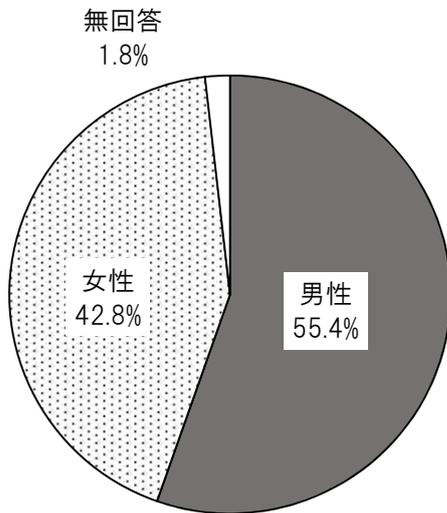
（p38～p40）

- ・コミュニティバスを「ほとんど又は全く乗らない」人を対象に、自宅近くにコミュニティバス等が運行された際の、利用可能性について確認した。
- ・運行されたとしても「利用しない」との回答は 54.6%であった。
- ・前回調査時点（2013年）では「利用しない」との回答が 64.1%であったため、コミュニティバス等に対するハードルは低くなっていると言える。
- ・利用転換に対して、「環境対策」「交通安全対策」「健康増進対策」の訴求力を確認すると、前回調査時点から、「交通安全対策」「健康増進対策」は意識効果が大きく上昇している。

2 調査結果

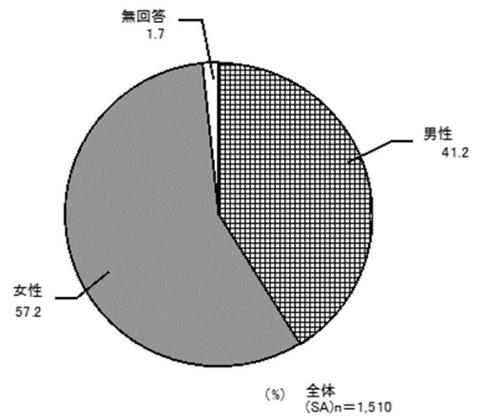
(1) 属性

① 性別



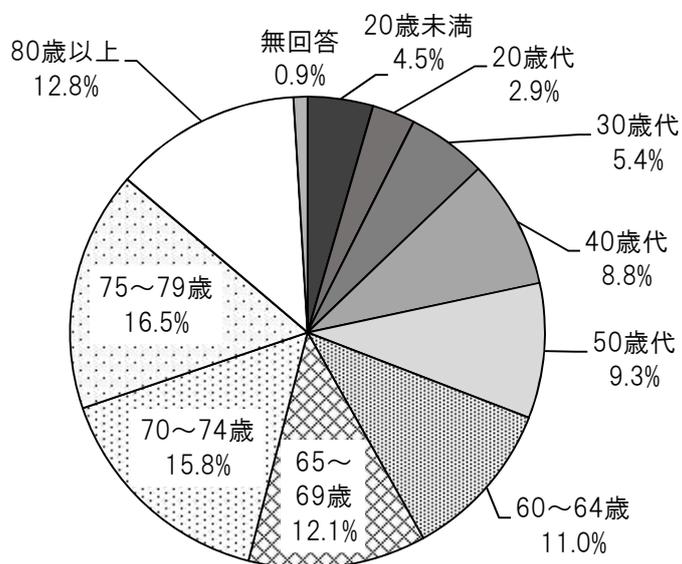
全体(SA) n=1,165

2013年



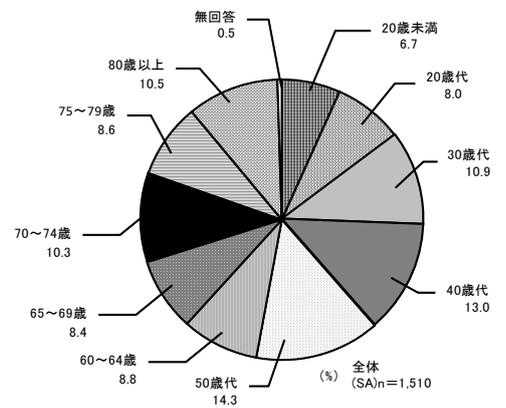
(%) 全体 (SA)n=1,510

② 年齢



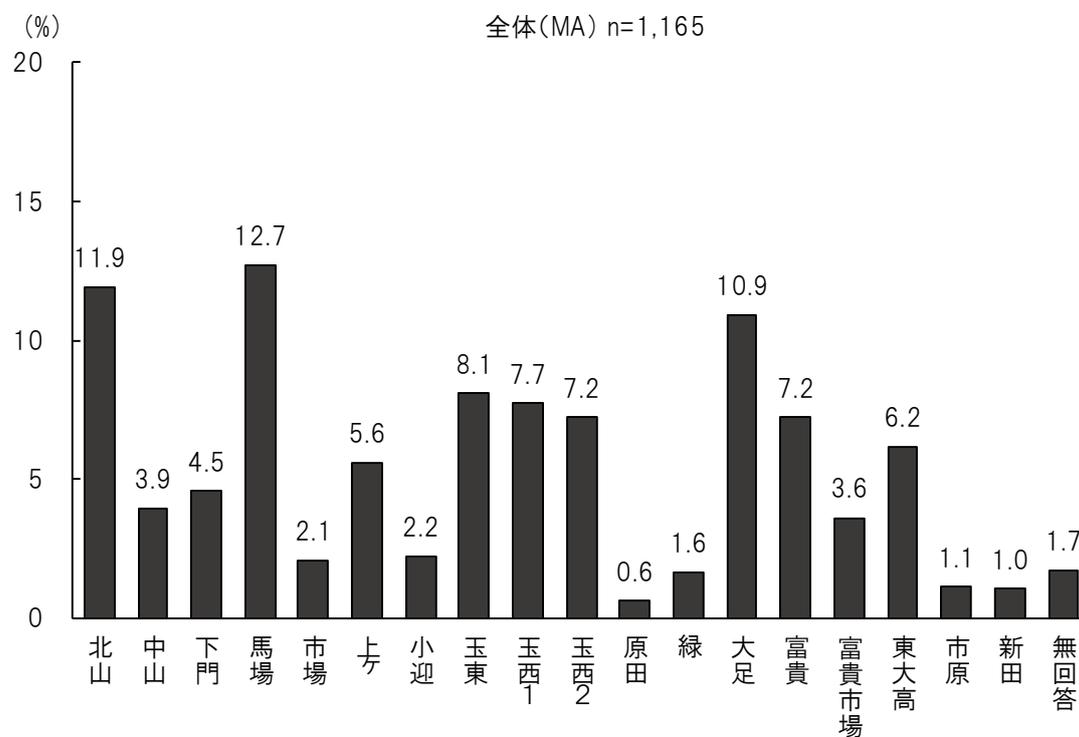
全体(SA) n=1,165

2013年

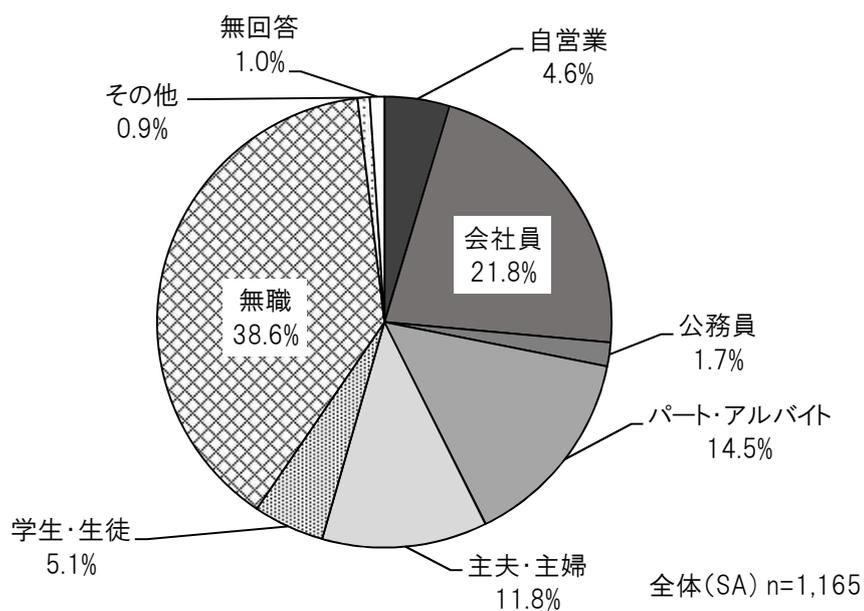


(%) 全体 (SA)n=1,510

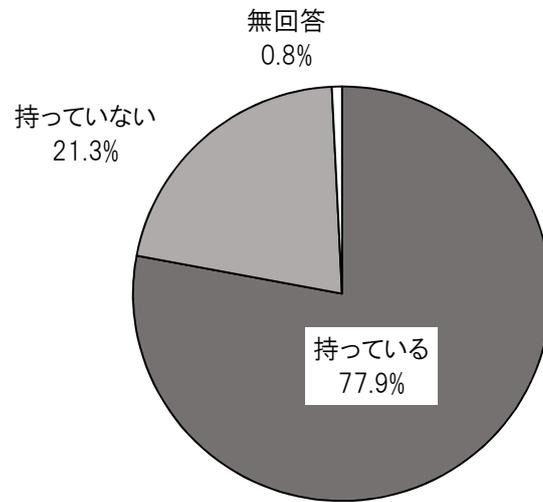
③住まい



④職業

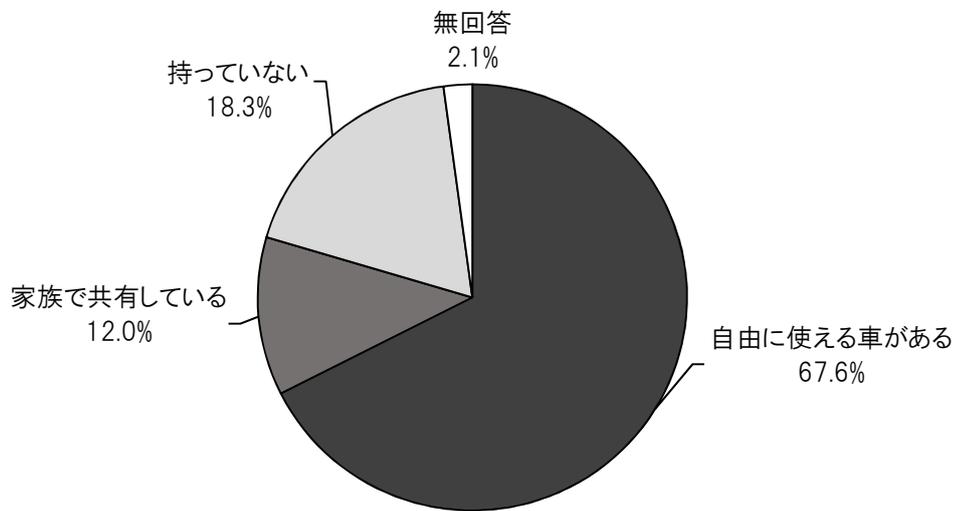


⑤自動車運転免許証の所有



全体(SA) n=1,165

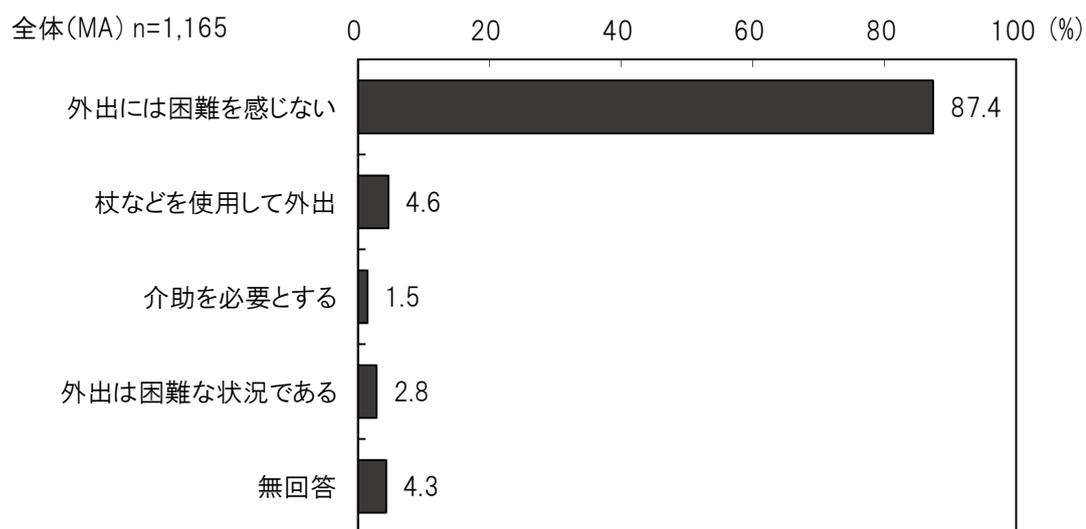
⑥自家用車の所有



全体(SA) n=1,165

⑦通勤・通学を含む外出について

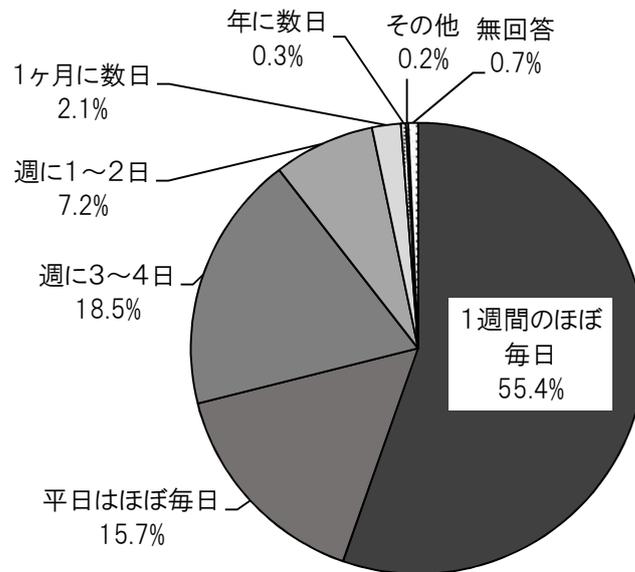
- ・回答者の内、外出に困難を感じていない人は、**87.4%**いる一方で、外出しにくいと感じる人は**8.9%**いる。



(2)外出(通勤・通学含む)の頻度や目的について

問 2 - 1 あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

- ・回答者の外出頻度は、「1週間のほぼ毎日・平日はほぼ毎日」の小計が71.1%となり、住民の7割が週5日以上外出している。

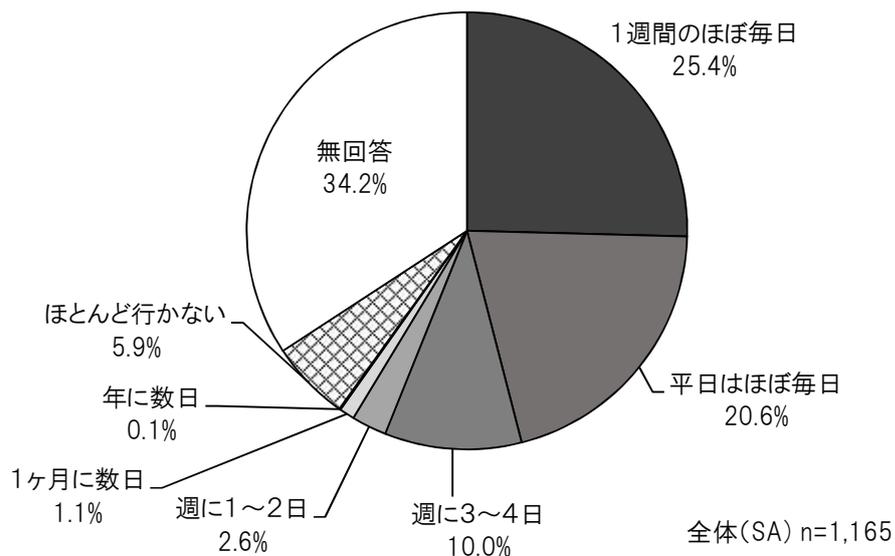


全体(SA) n=1,165

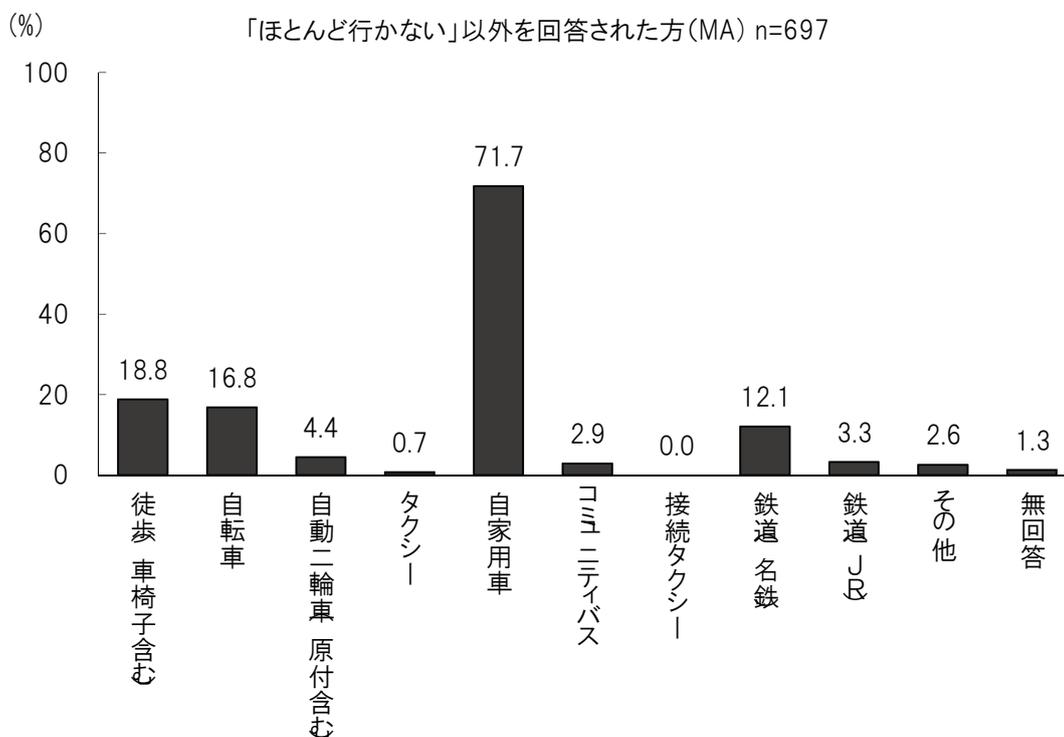
問2-2. 「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。（「通勤」には、自営・農業等を含みます）

【通勤・通学の頻度】

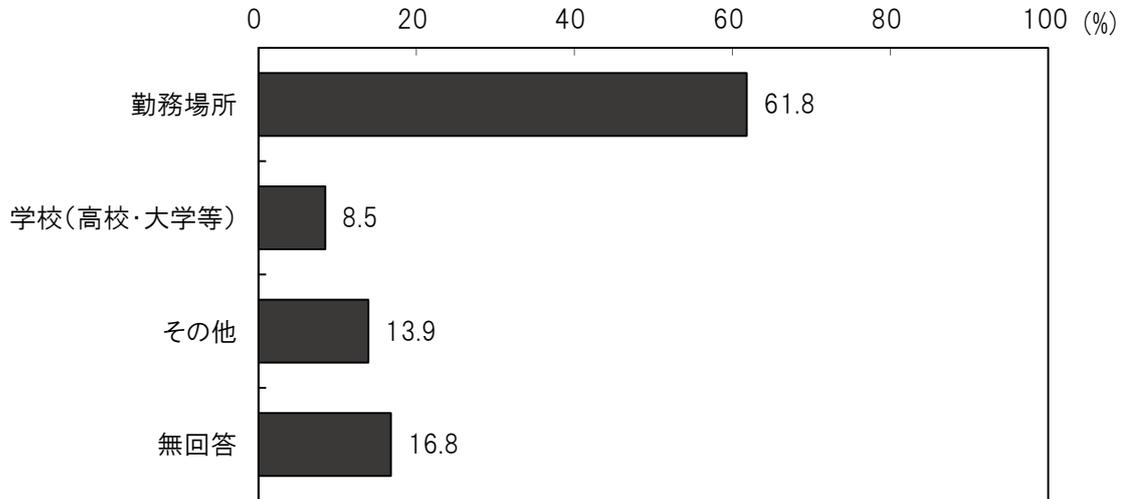
・通勤・通学の外出頻度は、無職等の無回答者を含めた割合で、約半数が週5日以上外出している。



【通勤・通学の交通手段】



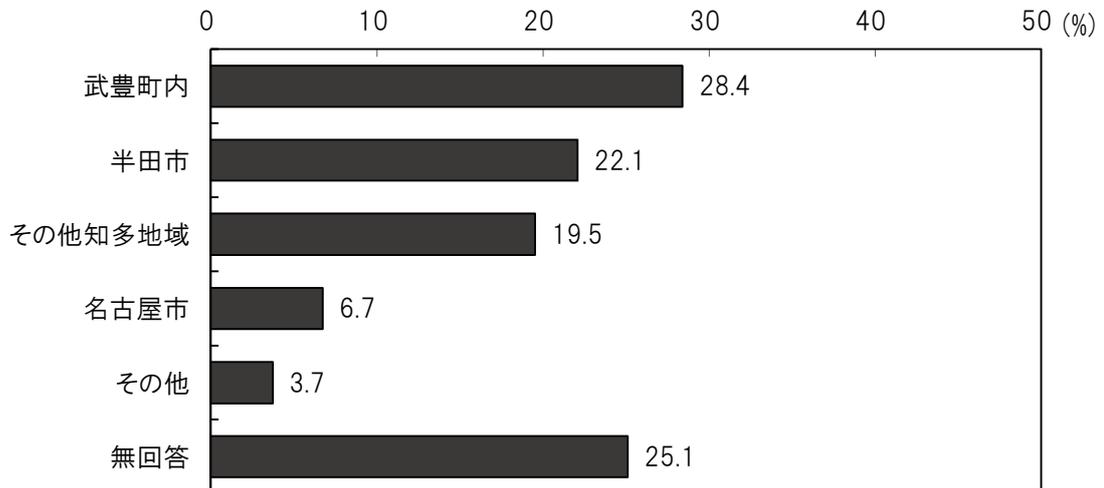
【通勤・通学の目的地の施設等の名前】



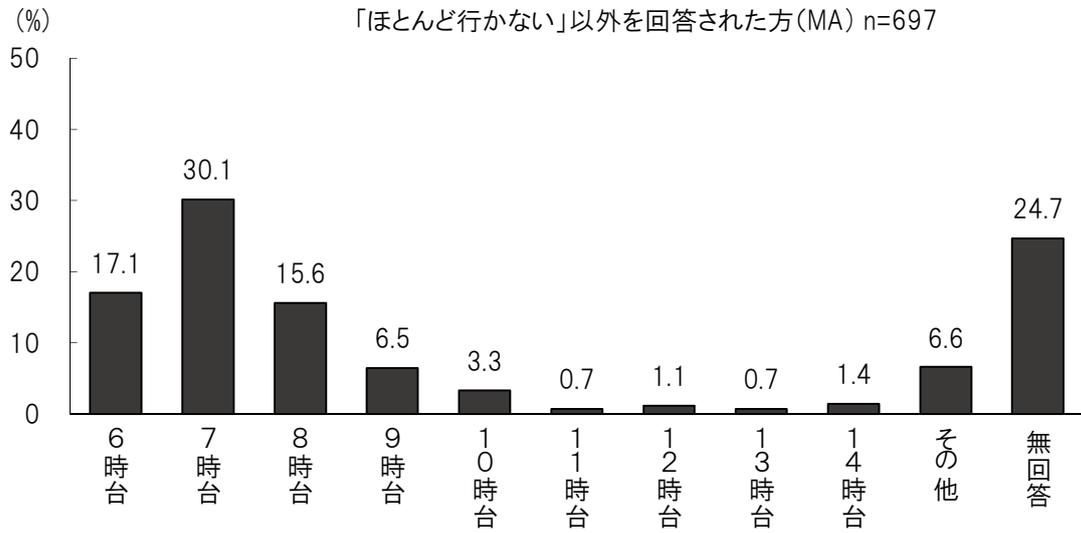
「ほとんど行かない」以外を回答された方(MA) n=697

【通勤・通学の目的地の場所】

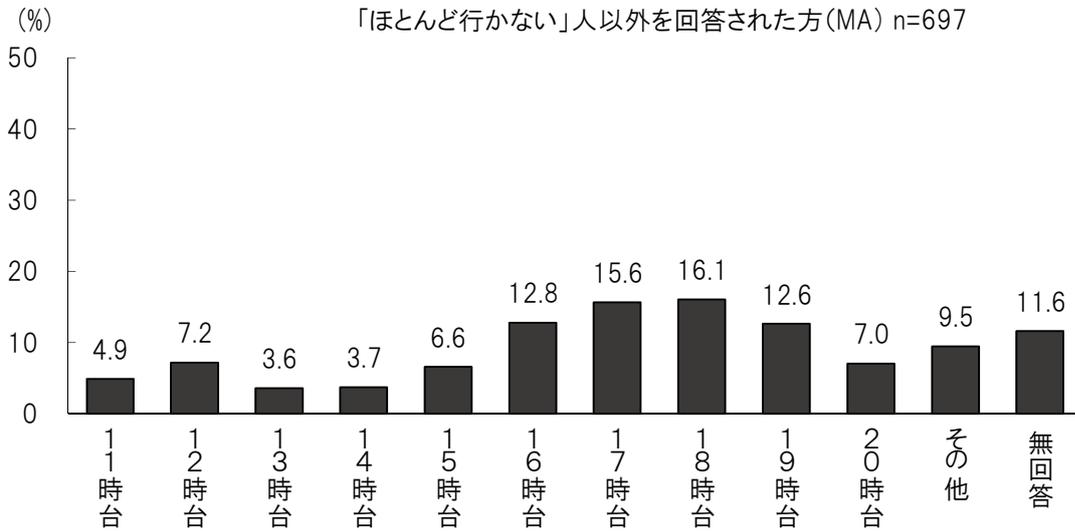
「ほとんど行かない」以外を回答された方(MA) n=697



【通勤・通学の出発時間帯】

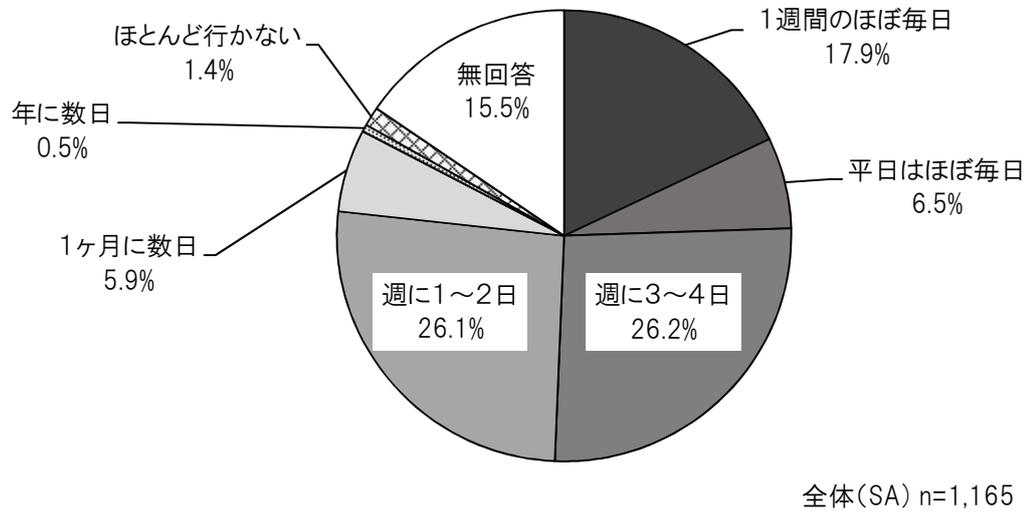


【通勤・通学の帰宅時間帯】

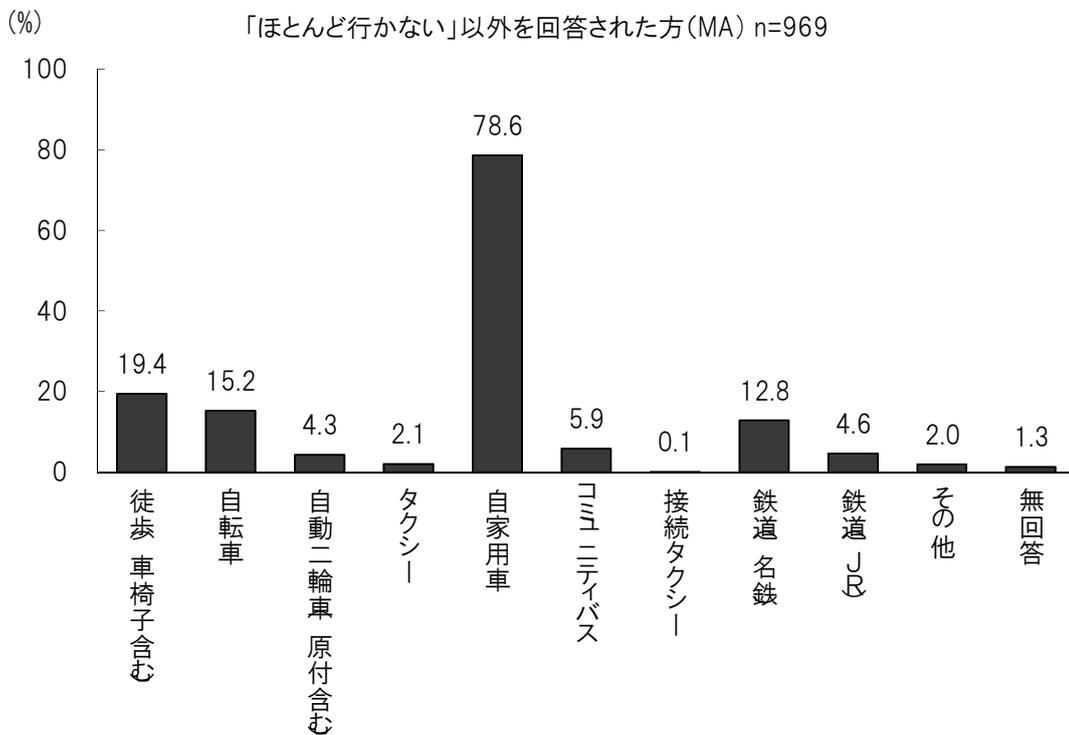


【買い物や娯楽の頻度】

- ・通勤通学と比較すると外出頻度が少なく、買い物や娯楽で週5日以上外出する人は全体の24.4%である。

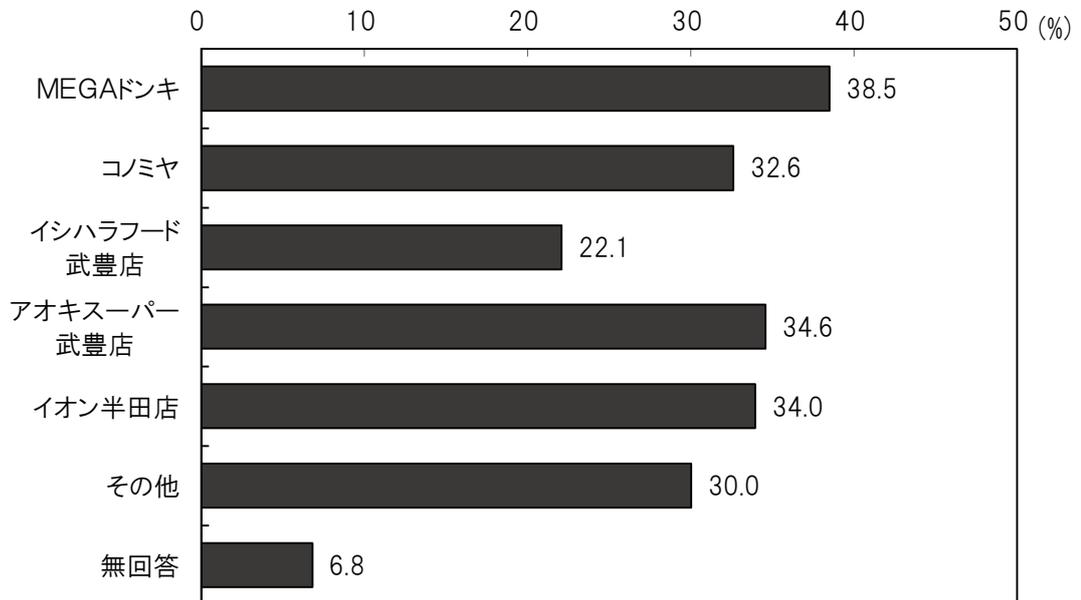


【買い物や娯楽の交通手段】



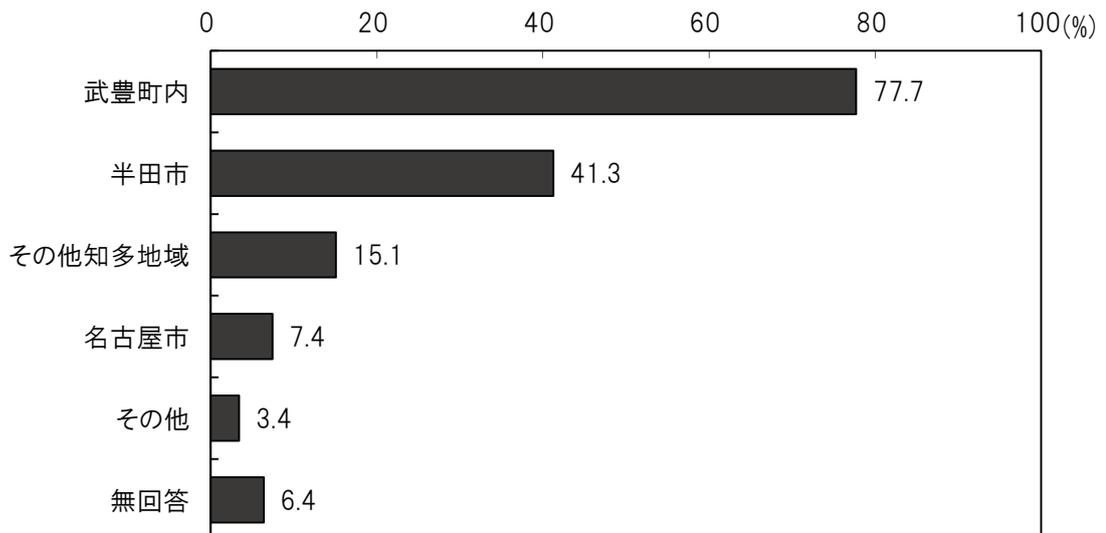
【買い物や娯楽の目的地の施設の名前】

「ほとんど行かない」以外を回答された方(MA) n=969

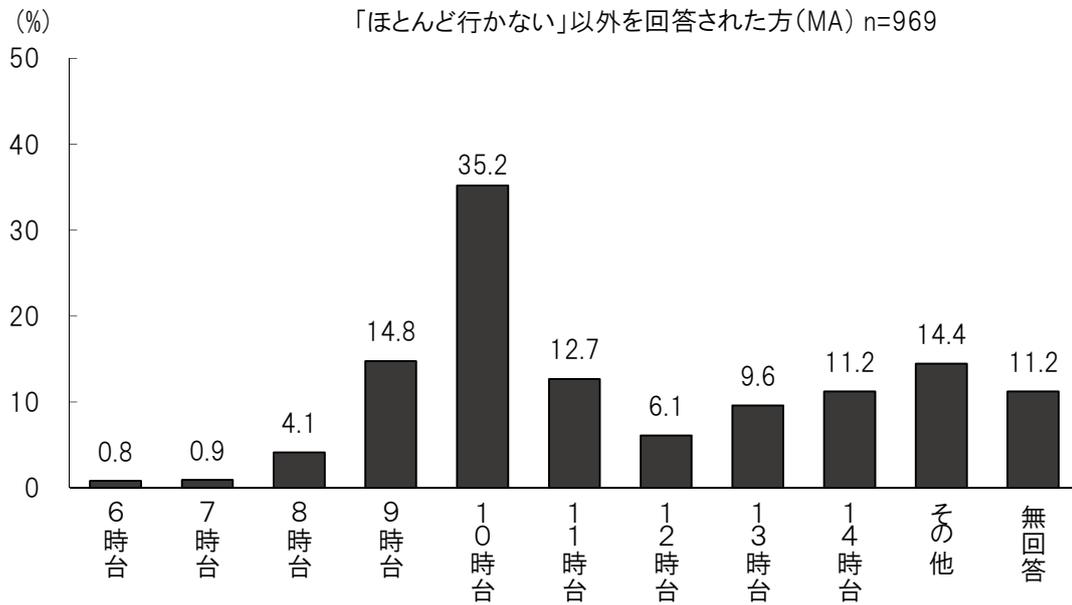


【買い物や娯楽の目的地の場所】

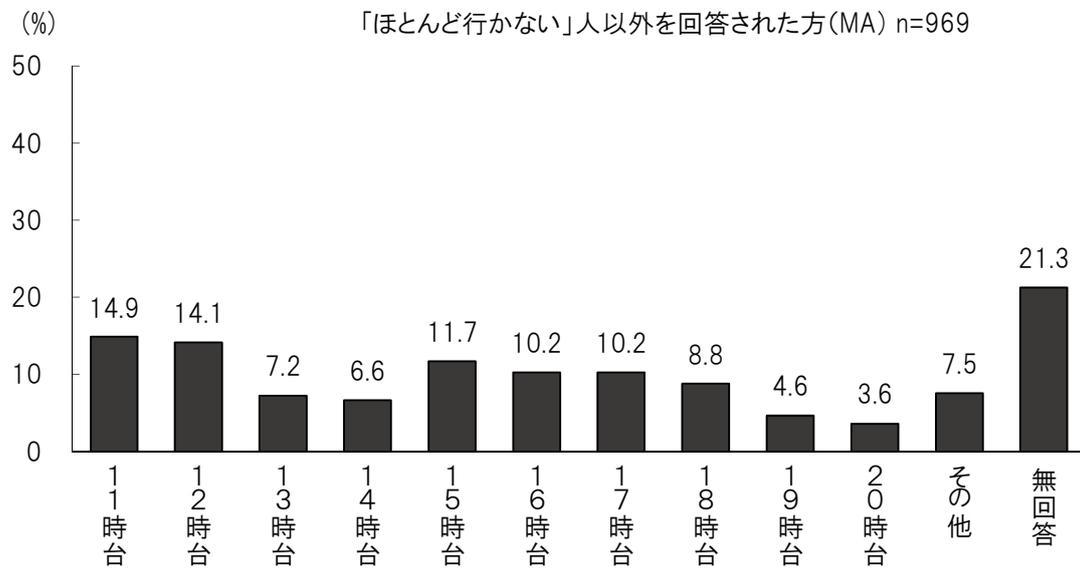
「ほとんど行かない」以外を回答された方(MA) n=969



【買い物や娯楽の出発時間帯】

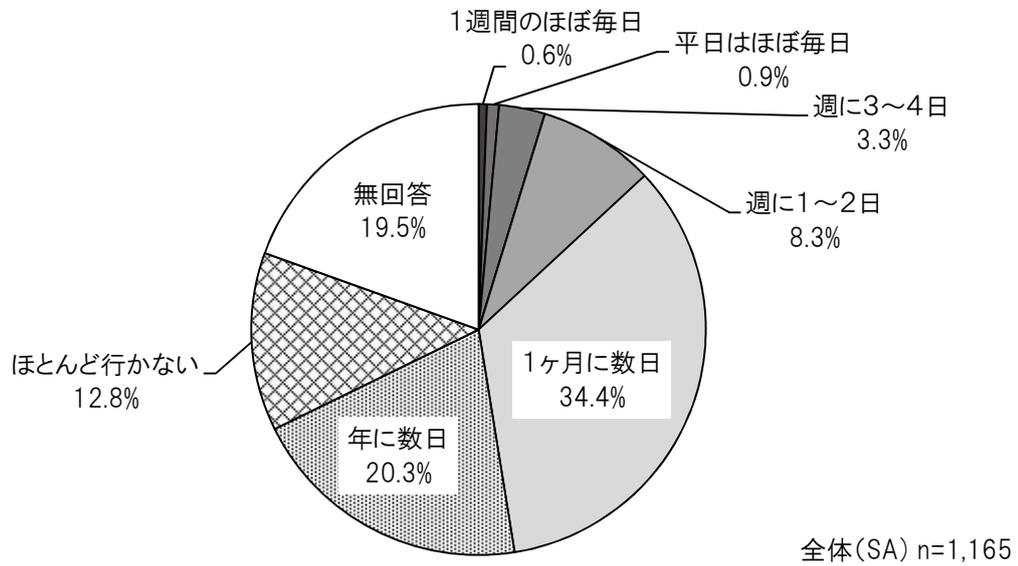


【買い物や娯楽の帰宅時間帯】

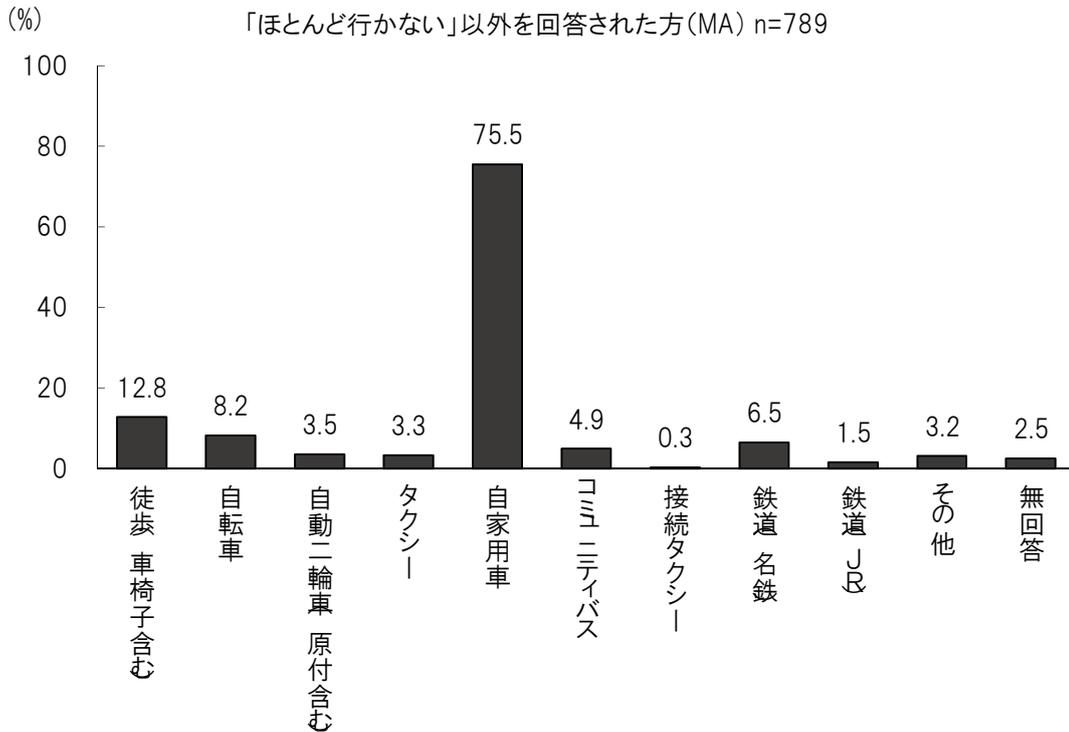


【病院や福祉施設の頻度】

- ・病院や福祉施設を目的とした外出頻度は、「1ヶ月に数日」が**34.4%**と最も多い。
週に1日以上外出する割合は、**13.1%**となっている。

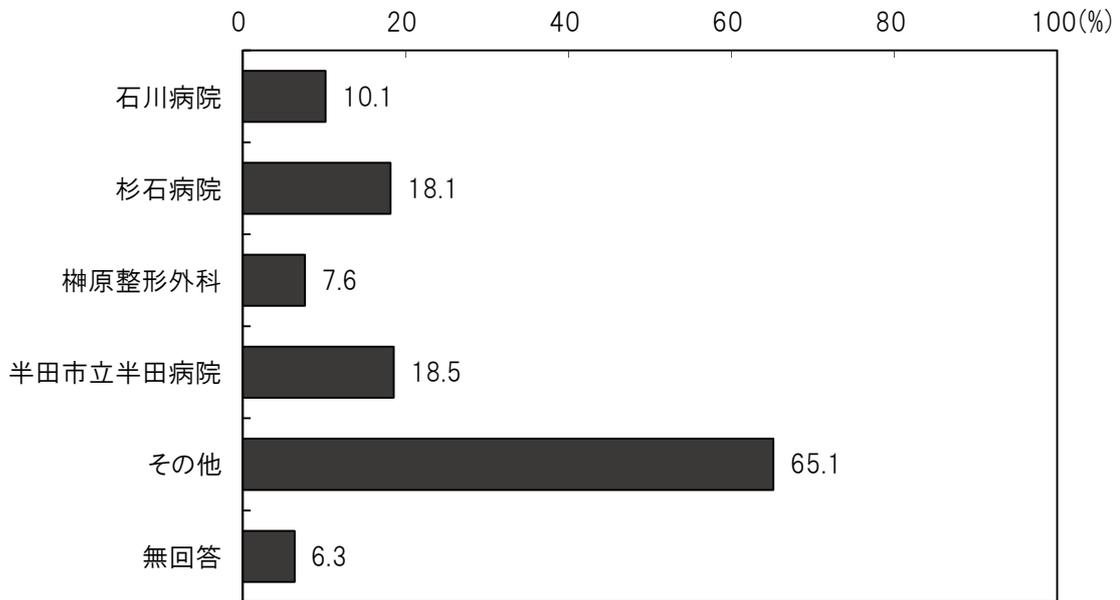


【病院や福祉施設の交通手段】



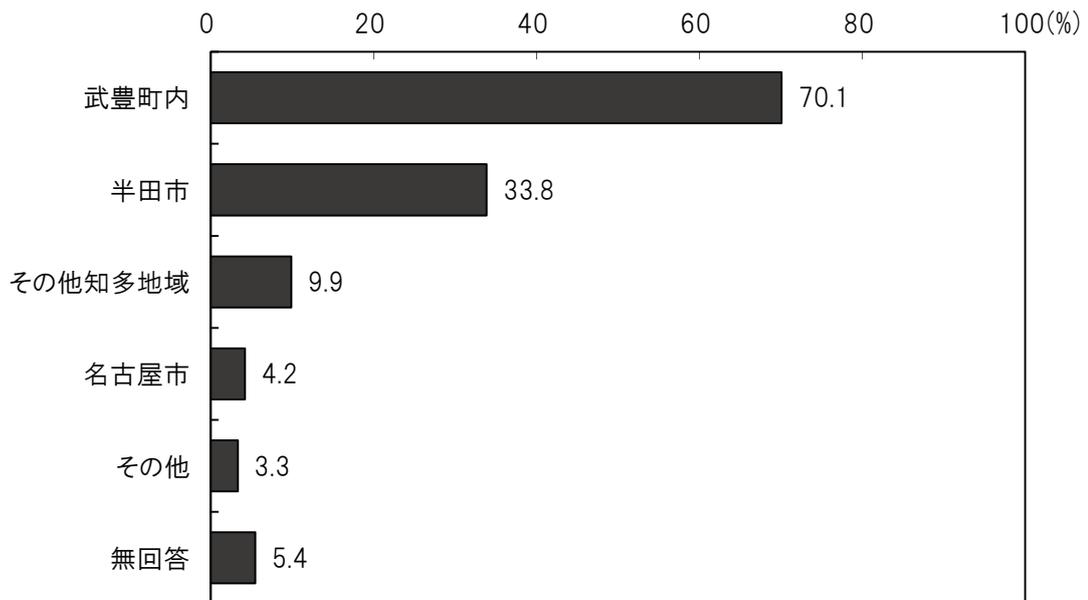
【病院や福祉施設の目的地の施設の名前】

「ほとんど行かない」以外を回答された方(MA) n=789

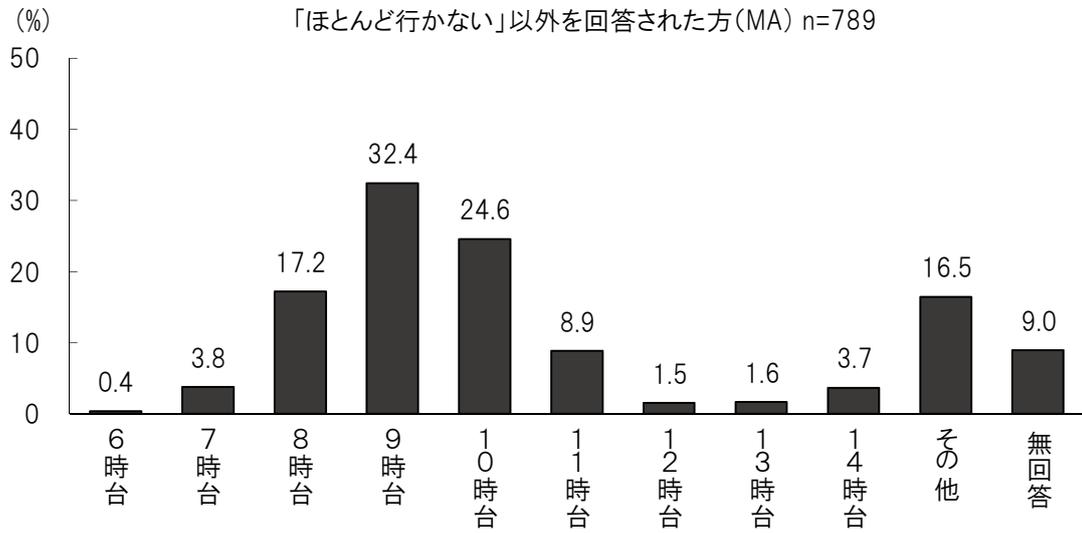


【病院や福祉施設の目的地の場所】

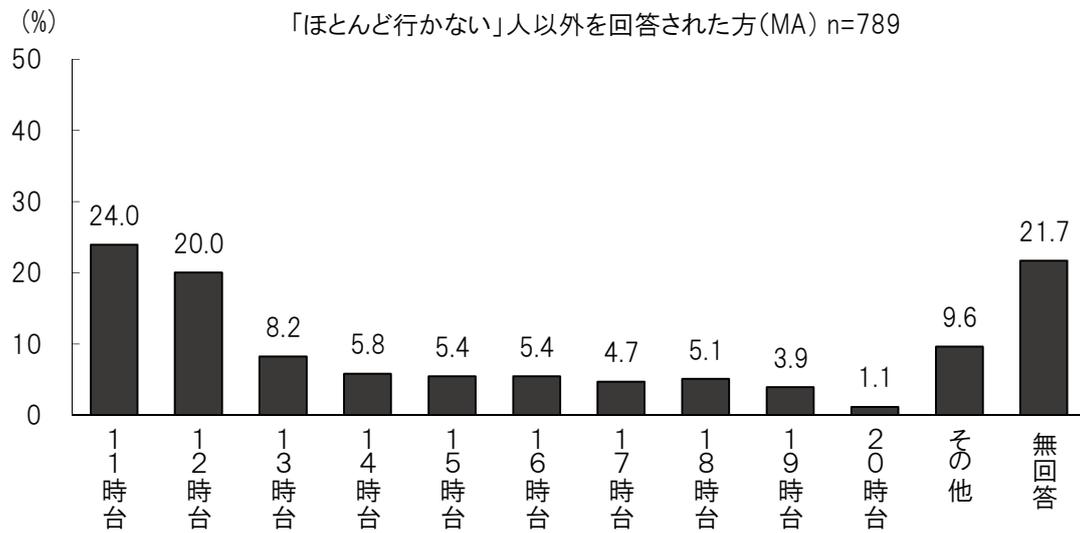
「ほとんど行かない」以外を回答された方(MA) n=789



【病院や福祉施設の出発時間帯】



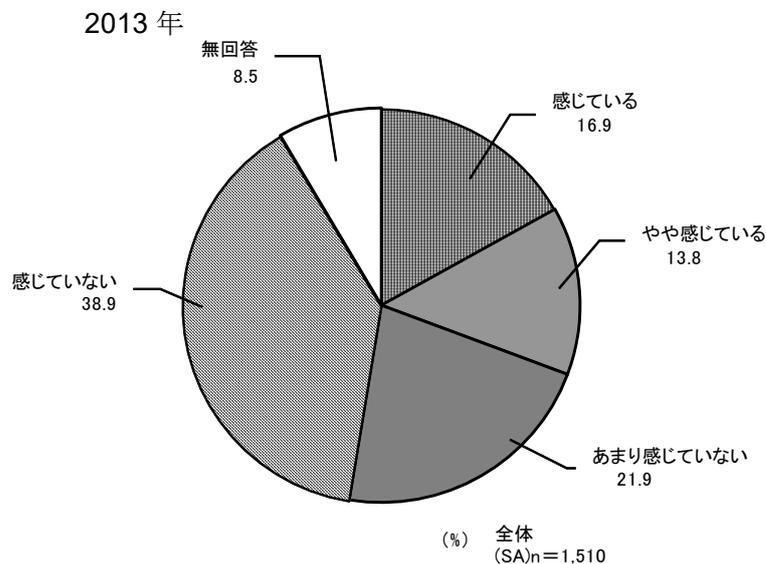
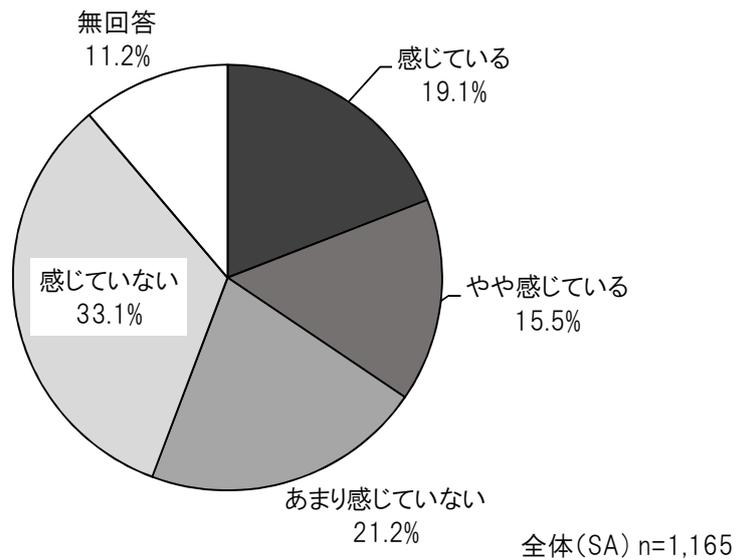
【病院や福祉施設の帰宅時間帯】



(3) 公共交通による移動について

問3-1. 日常の公共交通（鉄道・コミュニティバス・タクシー等）での移動に不便を感じていますか？（1つに○）

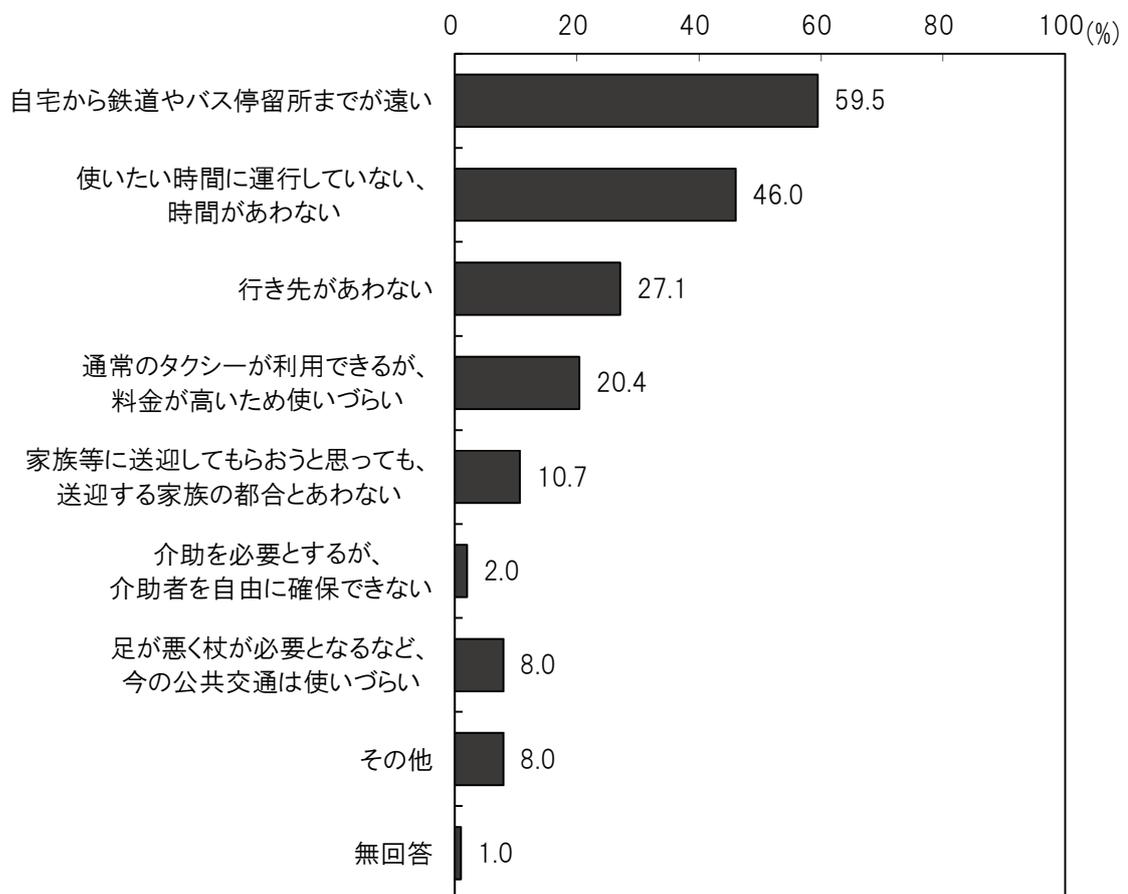
- ・日常の公共交通での移動に「不便」を感じている人の割合は、「感じている・やや感じている」が34.6%である一方、「あまり感じていない・感じていない」が54.3%となり、住民の過半数が、公共交通の移動に対して不便を感じていない。
- ・前回調査時点（2013年）では、「感じている・やや感じている」が30.7%、「あまり感じていない・感じていない」が60.8%であった。当時から現状のコミュニティバス事業を実施しており、移動環境は大きな変化がない中で、移動に不便を感じている割合が少し増えている回答となった。住民にとっては、既存の移動サービスが当たり前と感じ、より高いサービスを求める意識変化が起きている。



不便を感じる理由は何ですか？（3つまでに○）

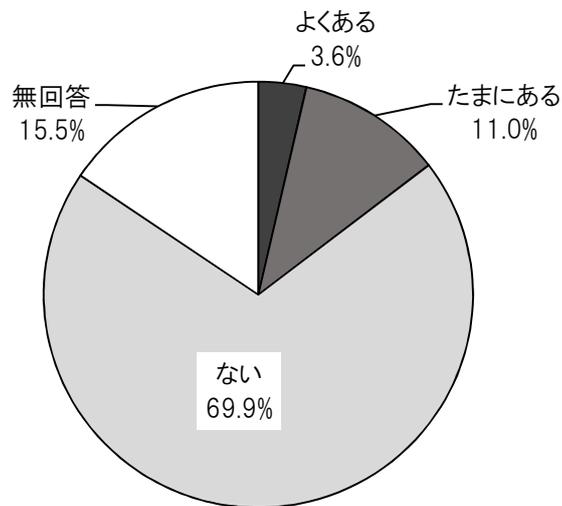
- ・前問で「不便と感じている・やや感じている」と回答した人において、不便を感じると回答した理由は、「自宅から鉄道やバス停留所までが遠い」を選択する人が **59.5%**と最も多く、次いで「使いたい時間に運行していない、時間があわない」（**46.0%**）が選択されている。

公共交通での移動に「不便を感じている」「やや感じている」と回答された方
(MA) n=402



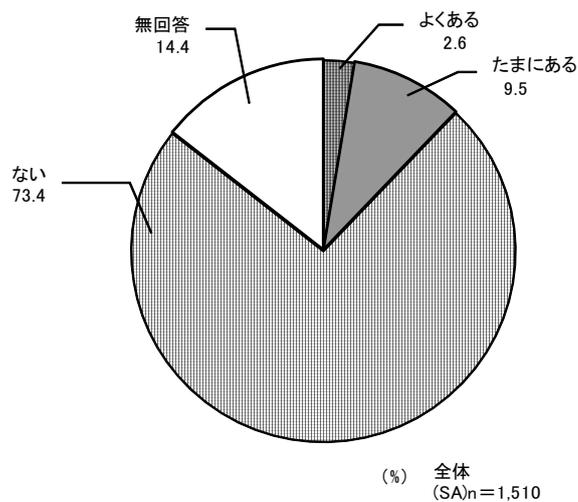
問3-2. 公共交通（鉄道・コミュニティバス・タクシー等）が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、外出を控えたことがありますか？（1つに○）

- ・全回答者の内、「外出を控えたことがある（よくある・たまにある）」と回答した人は、14.6%存在する。
- ・前回調査時点（2013年）では、「外出を控えたことがある」と回答した人は、12.1%であり、大きな変化は認められない。



全体(SA) n=1,165

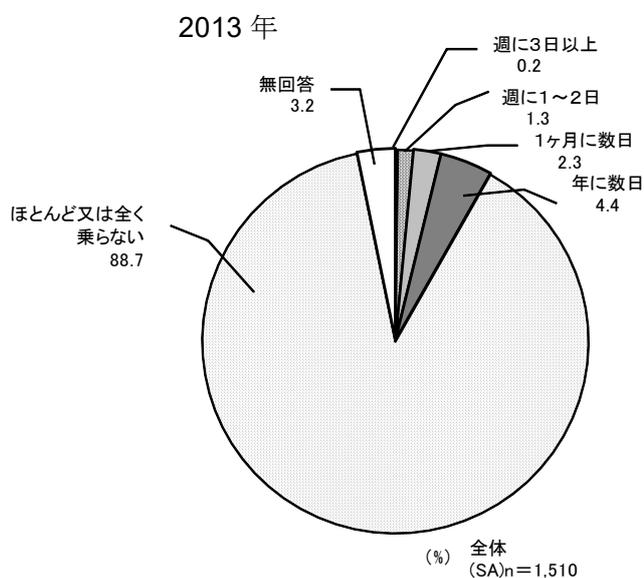
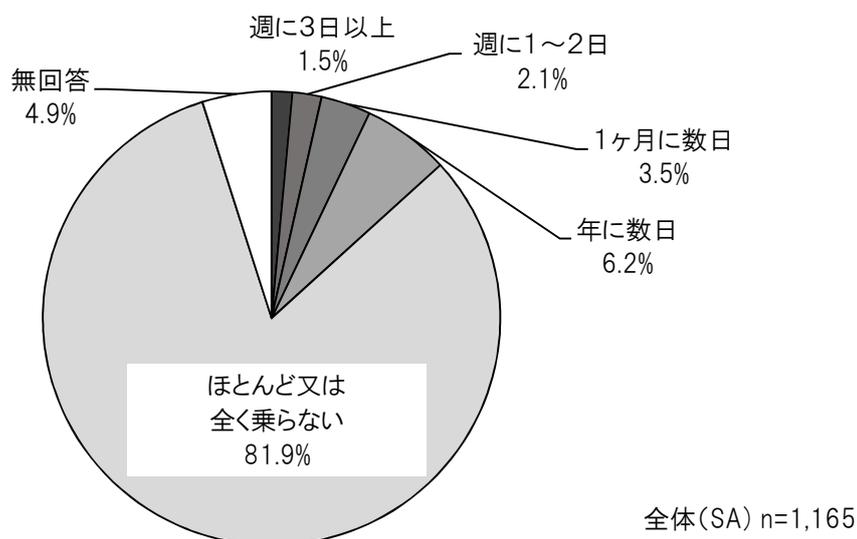
2013年



(4)バス等の利用実態について

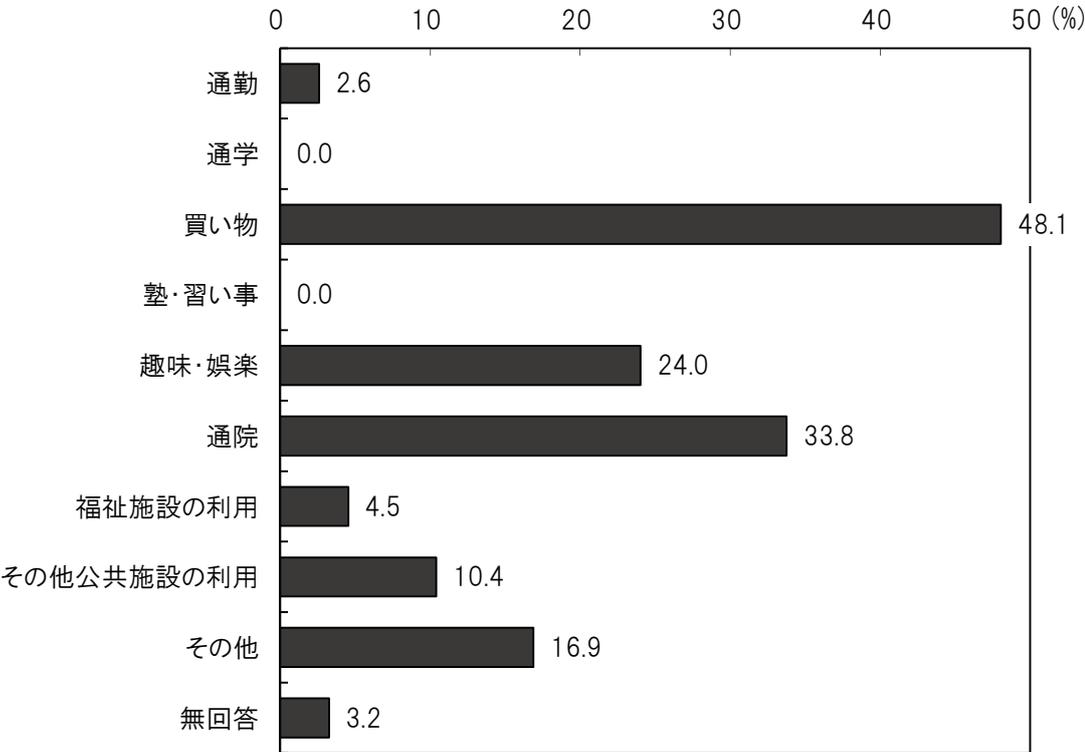
問4-1. 武豊町内のコミュニティバスの利用状況についてお伺いします。
あなたはコミュニティバスをどの程度利用されますか？（1つに○）

- ・コミュニティバスの利用状況は、「ほとんど又は全く乗らない」との回答が 81.9%存在する一方で、「年に数日」以上の利用者は、13.3%となった。
- ・前回調査時点（2013年）では、年に数日以上の利用者は 8.2%であり、5.1%ポイントが増加した。
- ・わずかではあるが、コミュニティバスの利用が拡大している。



問4-1. (2) コミュニティバスの主な利用目的をお答えください。(2つまで○)

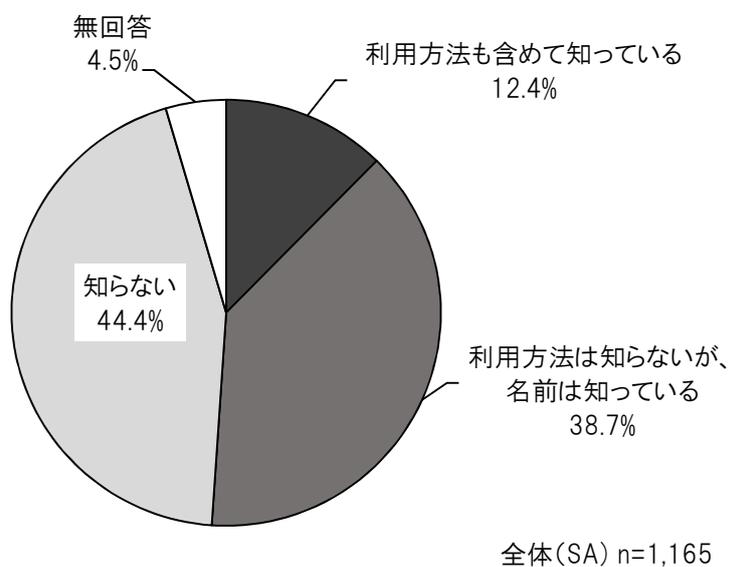
「ほとんど乗らない」以外を回答された方(MA) n=154



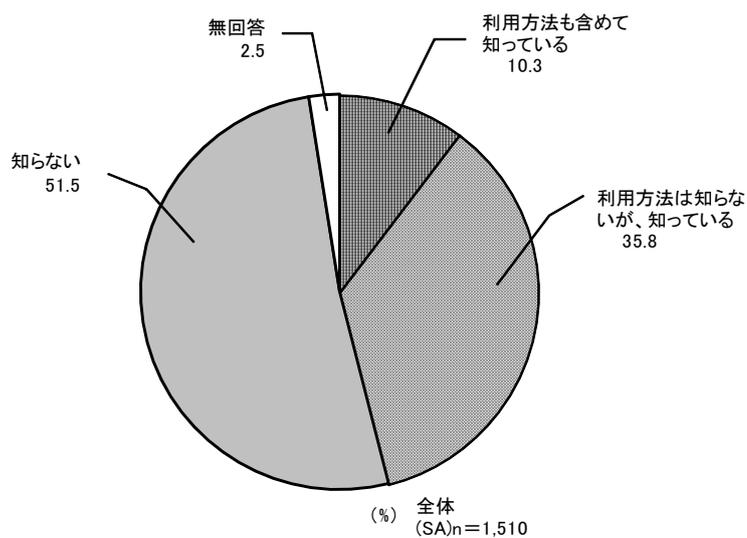
問4-2. 武豊町内の「接続タクシー（コミュニティバスに接続するタクシー）」についてお伺いします。

(3) あなたは「接続タクシー」を知っていますか？（1つに○）

- ・接続タクシーの認知度について、「知らない」との回答が44.4%であった。
- ・前回調査時点（2013年）では、「知らない」との回答が51.5%であったため、わずかではあるが認知度は向上している。

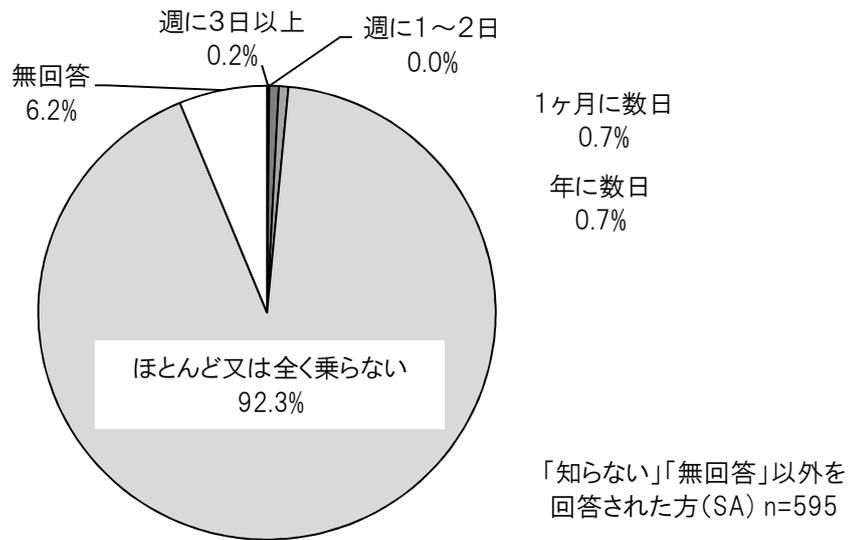


2013年（乗合タクシーの認知度）

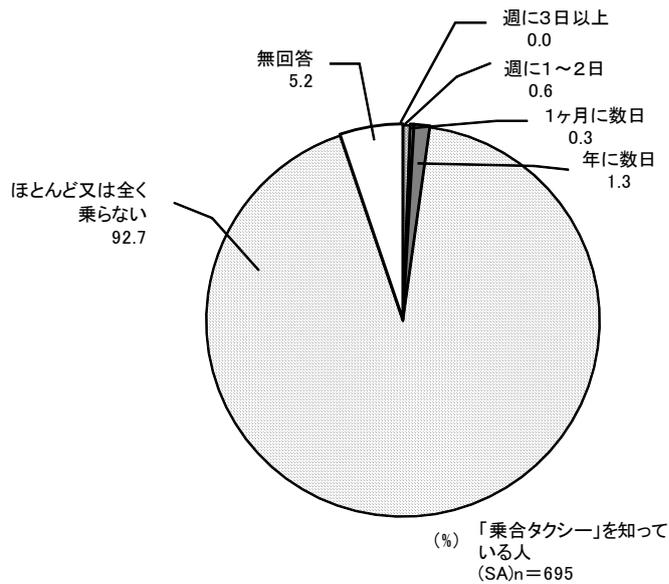


問4-2. (2) あなたは「接続タクシー」をどの程度利用されますか？(1つに○)

- ・接続タクシーの利用状況は、「ほとんど又はまったく乗らない」が92.3%存在した。
- ・前回調査時点(2013年)では、92.7%であったため、ほとんど変化はない。



2013年(乗合タクシーの利用状況)



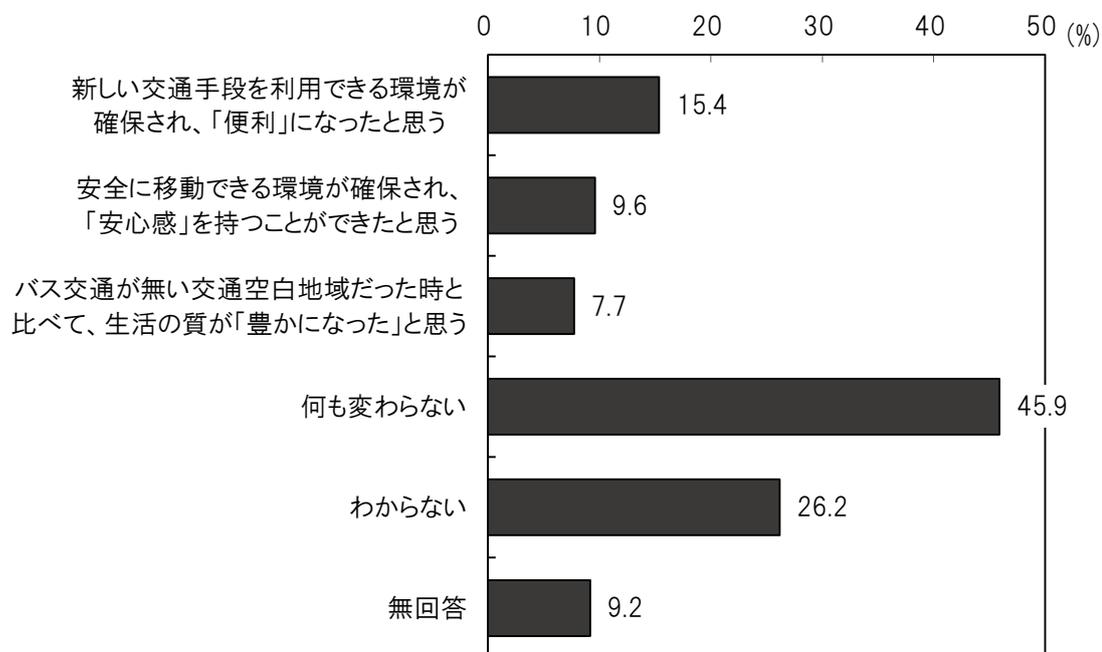
(5)コミュニティバスの事業実施効果について

問5-1. 平成22年7月から「武豊町コミュニティバス」の運行を開始しました。開始以降、随時運行内容を見直し、今年度10月にもルート・ダイヤを変更しています。

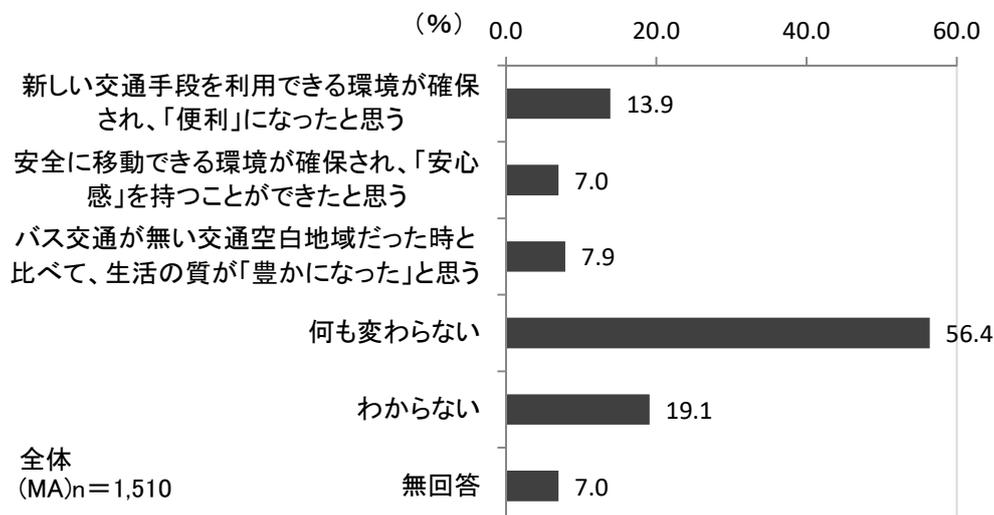
(1) 「コミュニティバスや接続タクシー」の運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。選択肢の中から、あてはまる番号を全て選んでください。(すべてに○)

- ・事業実施効果について、「便利になった」15.4%、「安心感が持てる」9.6%、「豊かになった」7.7%の割合で効果があったと回答している。「何も変わらない」との回答は45.9%であった。
- ・前回調査時点(2013年)では、「何も変わらない」との回答が56.4%であったため、10.5%の割合で、事業効果があったとの認識が良化した。

全体(MA) n=1,165

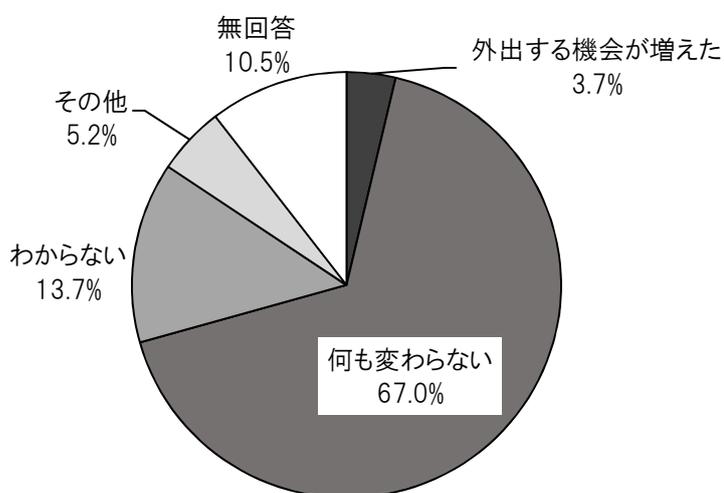


2013年

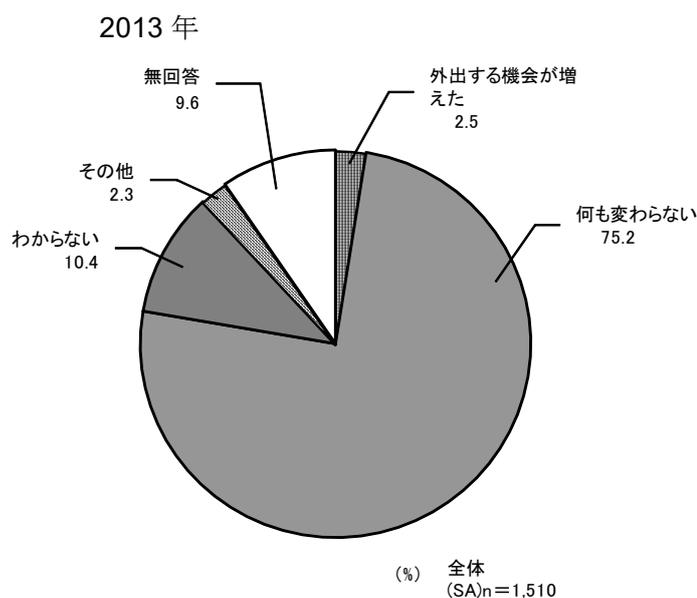


問5-1. (2) 「コミュニティバスや接続タクシー」などの運行をきっかけに、あなたの生活の中で、外出する機会が増えましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

- ・外出する機会の変化については、「機会が増えた」が3.7%、「何も変わらない」が67.0%となった。
- ・前回調査時点(2013年)では、「機会が増えた」が2.5%、「何も変わらない」が75.2%であったため、少し外出する機会が増えた形で変化している。

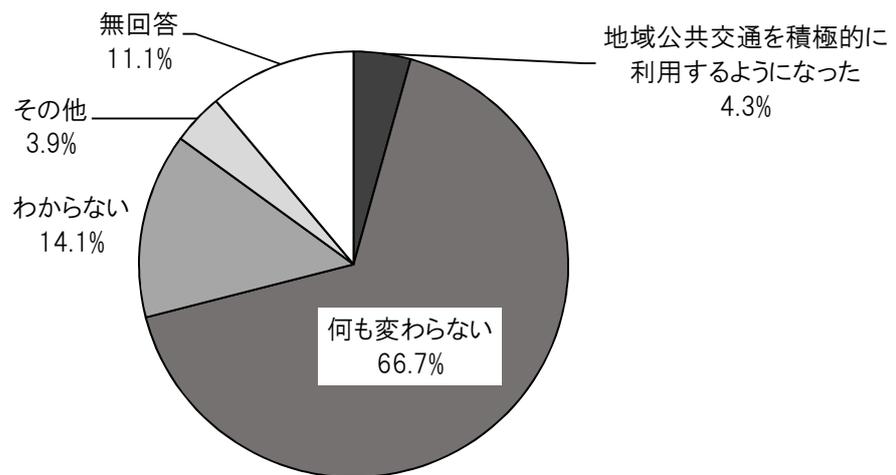


全体(SA) n=1,165



問5-1. (3) 「コミュニティバスや接続タクシー」などの運行をきっかけに、あなたの生活の中で、移動手段・行動について変化がありましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

- ・「地域公共交通を積極的に利用するようになった」との回答が4.3%だった。
- ・「何も変わらない」が66.7%であり、住民の過半数は変わらないと回答している。



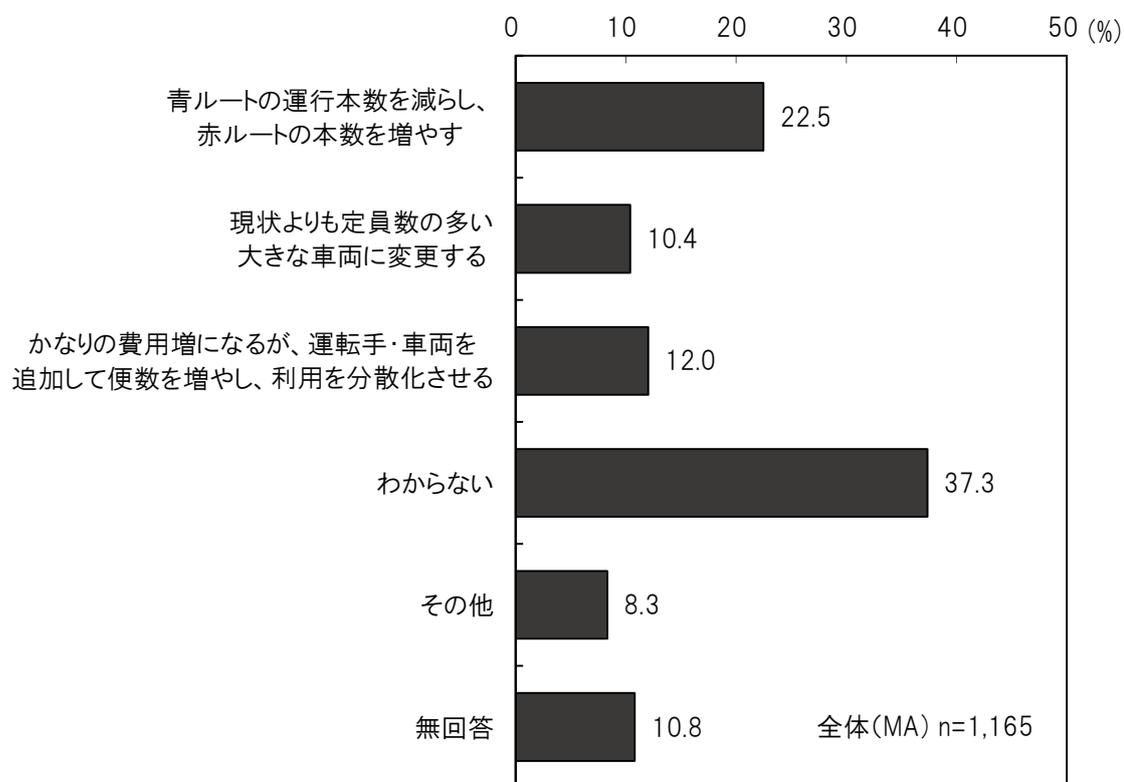
全体(SA) n=1,165

(6)武豊町の地域公共交通事業について

問6-1. 「コミュニティバス」は、赤・青の2つのルートからなります。2台のバスを投入してそれぞれ9便ずつ運行していますが、ルートにより利用者数に偏りがあります。

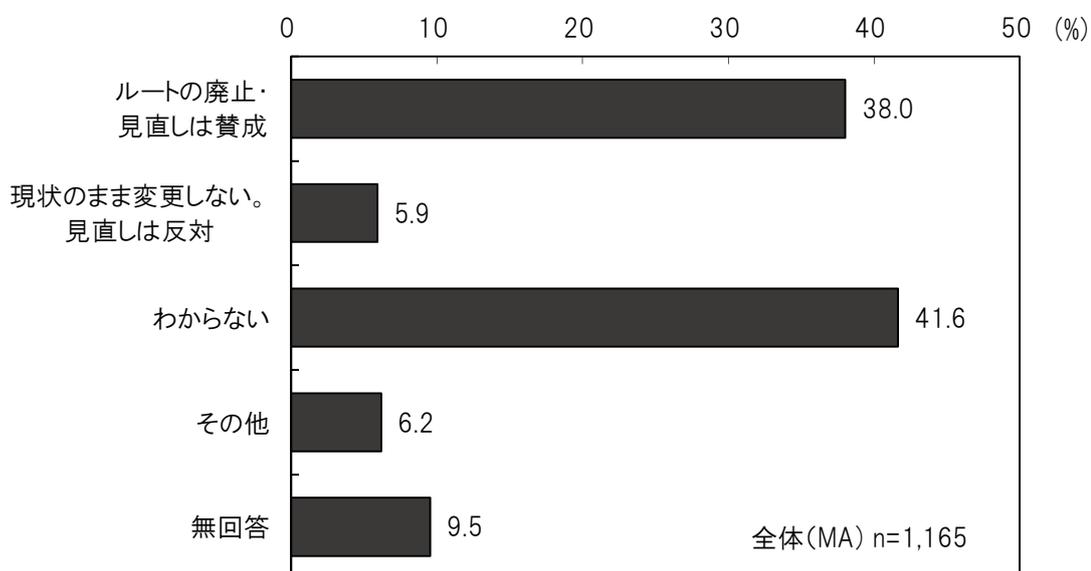
(1) 現状は、赤・青ルートそれぞれに、車両を投入して、それぞれ9便ずつ運行していますが、赤ルートの利用者数が多く、青ルートの利用者数が少ない状況となっています。特に「赤ルート」は1便当たりの利用者数は11.3人/便で、午前中の2便は乗車定員近くの利用となっています。ますます利用が増えることで、乗れない人が生じる可能性があり、何らかの対策を講じる必要があります。この見直しを行うことについて、あなたは、お考えに最も近いものを1つお選びください。(1つに○)

- ・コミュニティバス事業の事業改善に対する意向については、「わからない」との回答が37.3%と最も多い。(無回答と含めると48.1%・約半数を占める)
- ・意思表示のあった回答としては、「青ルートの運行本数を減らし、赤ルートの本数を増やす」が22.5%であり、投資を避ける意見が多い結果となった。
- ・「費用増による、運転手・車両を追加して便数を増やし利用を分散させる」が12.0%、「大きな車両に変更する」が10.4%となった。



(2) コミュニティバスが運行できない地区については、「接続タクシー」を導入して、交通空白のない、どこでも公共交通が利用できる環境を確保しています。しかしながら、「接続タクシー」は、一部では最近全く利用されていない停留所が存在します。利用者の少ない接続タクシーのルートの見直しをどう思われますか？（1つに○）

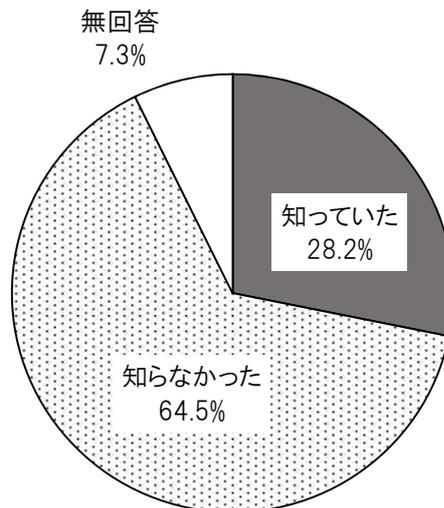
- ・接続タクシーの事業改善に対する意向としては、「わからない」との回答が 41.6%と最も多い。（無回答と含めると 51.1%・過半数を占める）
- ・意思表示のあった回答としては、「ルートの廃止・見直しは賛成」が 38.0%選択され、見直しに対しては、賛成多数となった。



問6-2. 「コミュニティバスや接続タクシー」の利用を促すために、これまでさまざまな取り組みを行ってきました。

(1) コミュニティバスの利用者が増加することで、乗降に係る時間を要することから、ダイヤとルートの見直しを行いました。令和元年10月1日から、赤・青ルートのダイヤ変更と、青ルートのルートの見直しを行ったことについて、この変化をご存知でしたか？(1つに○)

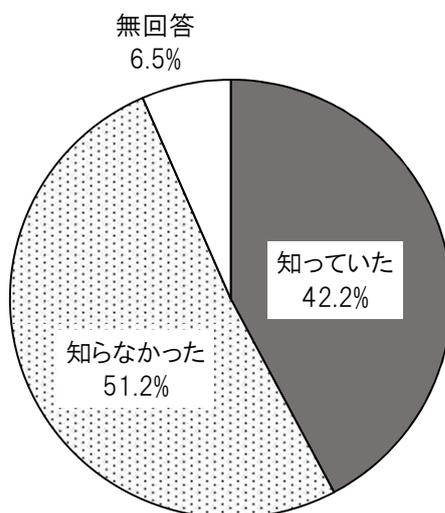
- ・コミュニティバスのダイヤ・ルート見直しの認知度は、28.2%となった。
- ・28.2%という割合は、コミュニティバスの年に数日以上の利用者割合(13.3%)よりも高く、利用されていない人への認知も認められる。



全体(SA) n=1,165

(2) 最近、高齢者が運転する自動車の事故が多く発生していることをふまえ、「コミュニティバスや接続タクシー」の利用料金について、1乗車・1回「100円」を、70歳以上の高齢者に対しては、無料にしました。令和元年10月1日から、70歳以上の高齢者を無料にしたことについて、この変化をご存知でしたか？(1つに○)

- ・70歳以上の無料化の認知度は、42.2%となり、「コミュニティバスのダイヤ・ルート見直し」よりも高い認知度となっている。
- ・運賃改定(無料化)は、訴求力が高いことがわかる。

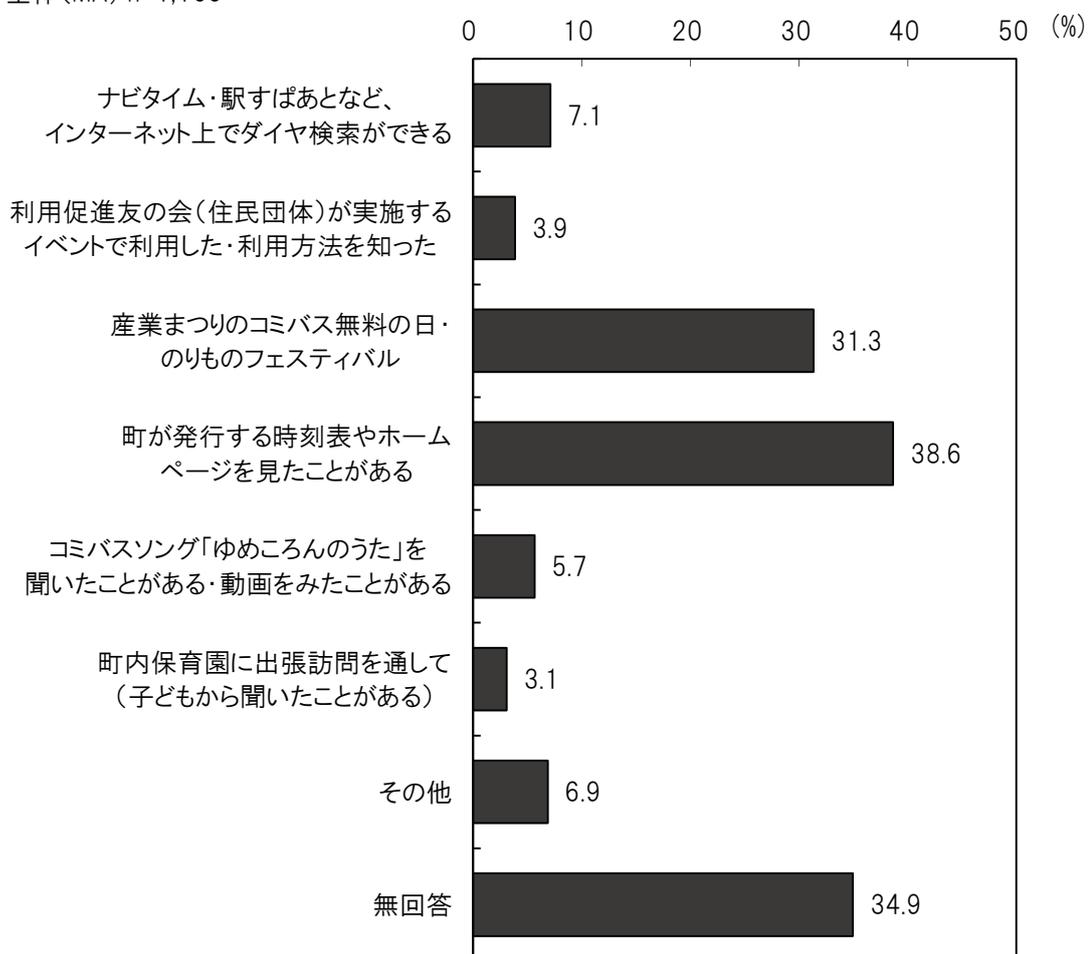


全体(SA) n=1,165

(3) これまで、「コミュニティバスや接続タクシー」の利用を促すために、利用促進会の会や町により、さまざまな取り組みを行ってきました。下記の選択肢のなかで、知っている取り組みがありましたら、あてはまるものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

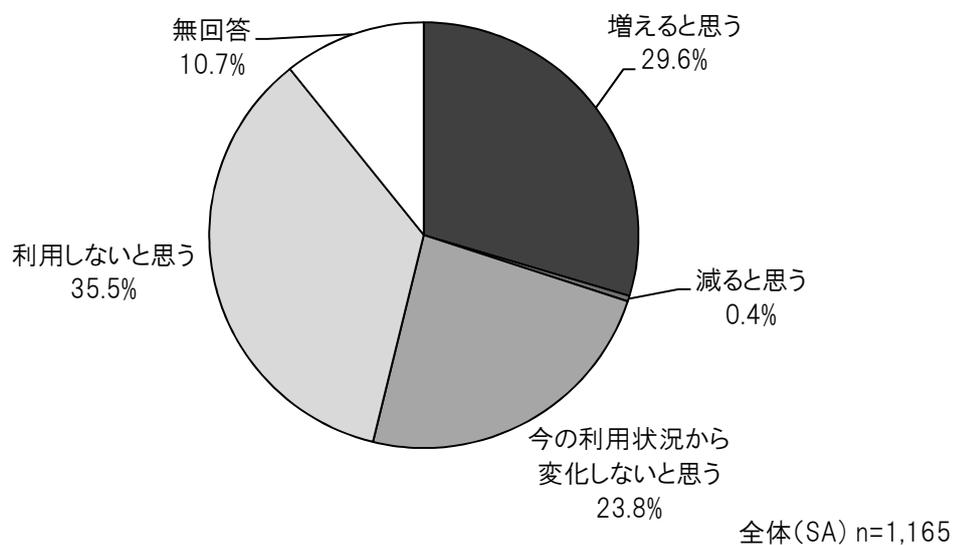
- ・これまでの取り組みの認知度としては、「時刻表・ホームページを見たことがある」(38.6%)、「産業まつりの無料の日・のりものフェスティバル」(31.3%)は認知が進んでいる。
- ・一方で、「インターネット上でのダイヤ検索」(7.1%)、「ゆめころんのうた・動画をみたことがある」(5.7%)などの取組は、認知度が低い。

全体(MA) n=1,165



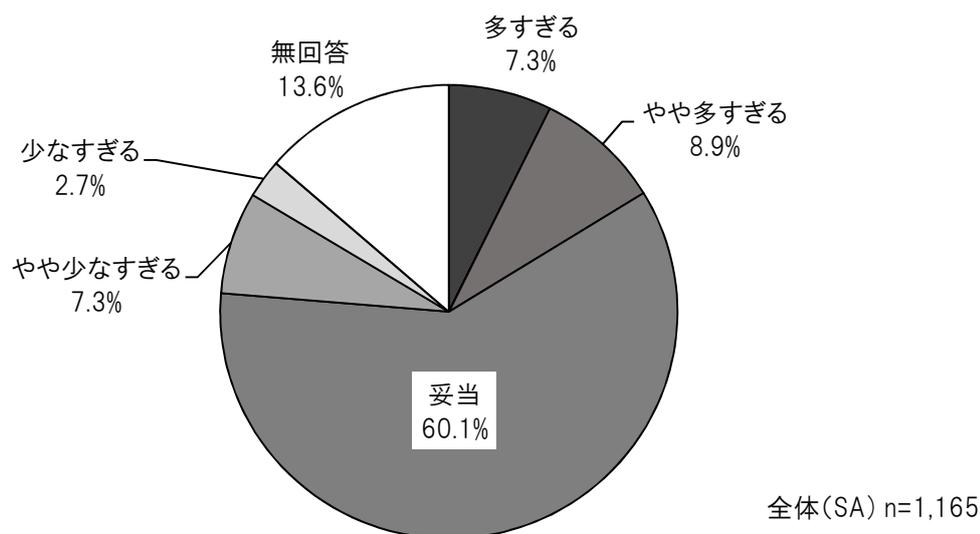
(4) コミュニティバスや接続タクシーに関する取り組みを進めることで、今後、あなたのこれらバス・接続タクシーの利用(頻度)については、変化しますか？ (1つに○)

- ・利用促進活動の取組を実施することで、「利用しない・変化しないと思う」との回答が過半数を占めるものの、「増えると思う」との回答が29.6%の割合で選択された。
- ・利用促進活動の実施で、飛躍的な効果は認められないが、3割の人の気持ちを変える効果は確認された。

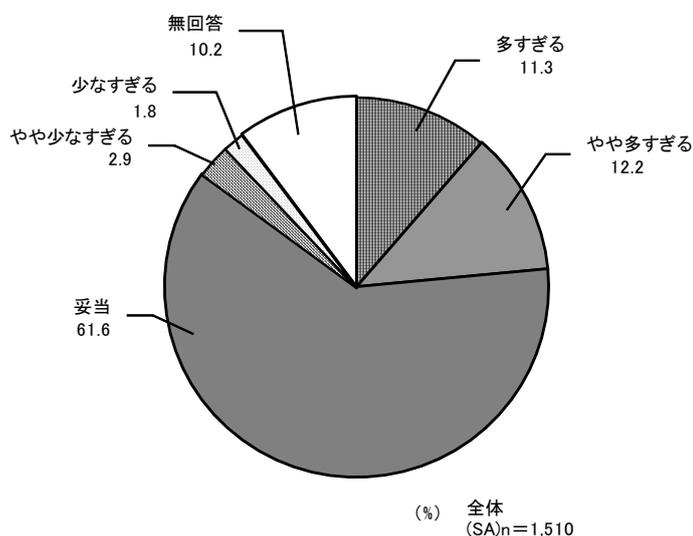


問6-3.「コミュニティバスや接続タクシー」を維持するために1世帯当たり年間約1,590円（月あたり132円）程度の負担をしています。この負担額を、どう思いますか？（1つに○）

- ・税負担に対する評価については、「妥当」との回答が60.1%で、住民の過半数が妥当と判断している。
- ・「多すぎる・やや多すぎる」を選択した人の割合は16.2%、「やや少なすぎる・少なすぎる」は10.0%となり、「多い」と判断する人の方が多い。
- ・前回調査時点（2013年）では、「妥当」が61.6%、「多すぎる・やや多すぎる」が23.5%、「やや少なすぎる・少なすぎる」が4.7%であった。
- ・前回調査時点との比較では、「負担額が少ない」との割合が増加し、移動サービスに対する負担増に対して「理解を示す」傾向に変化している。

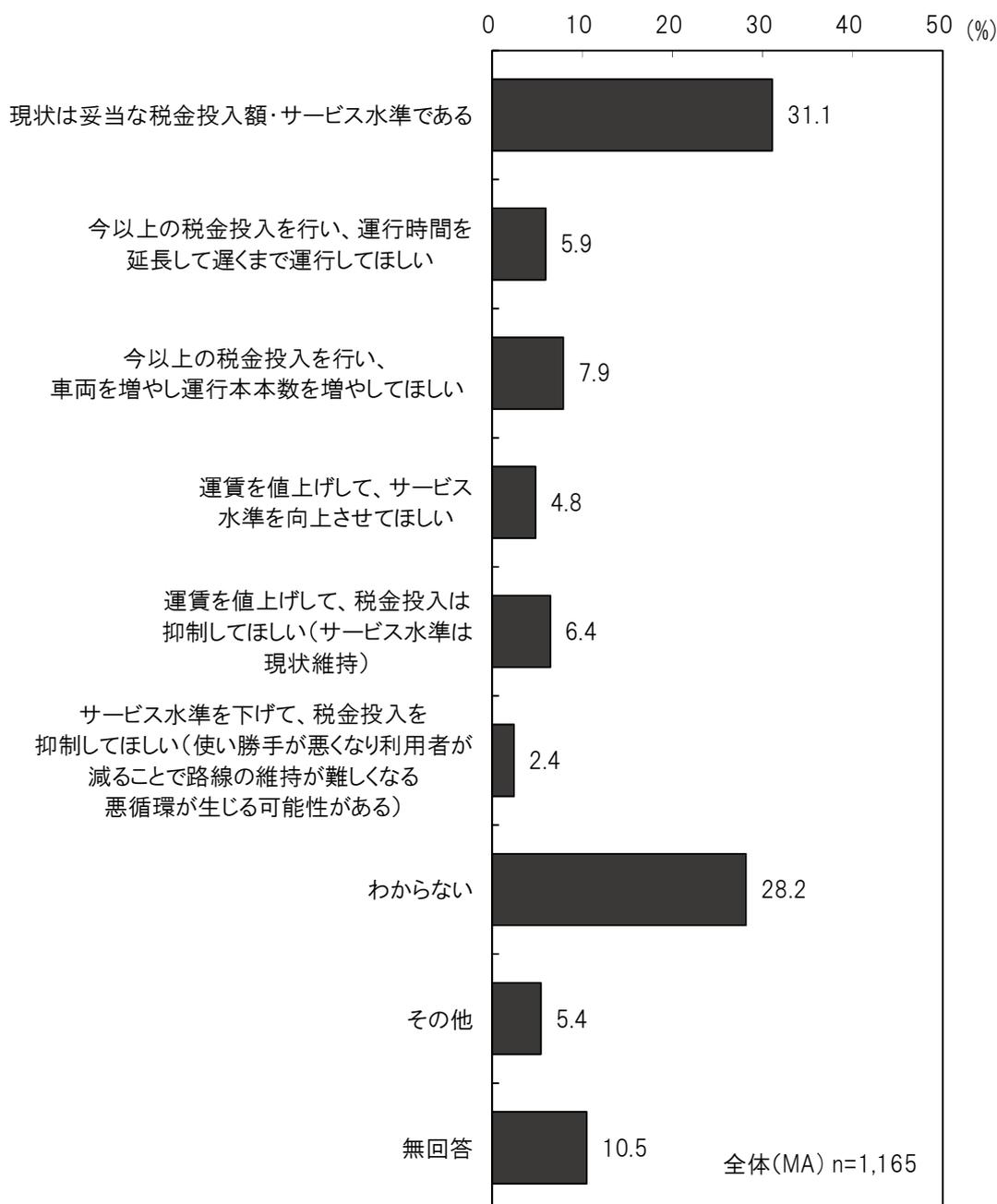


2013年（1世帯当たり年間約1,350円）



問6-4. 今後の『税金負担』と『公共交通サービスの水準（運行方法、運賃設定や運行本数等）』のあり方について、どのように考えるべきですか？（1つに○）

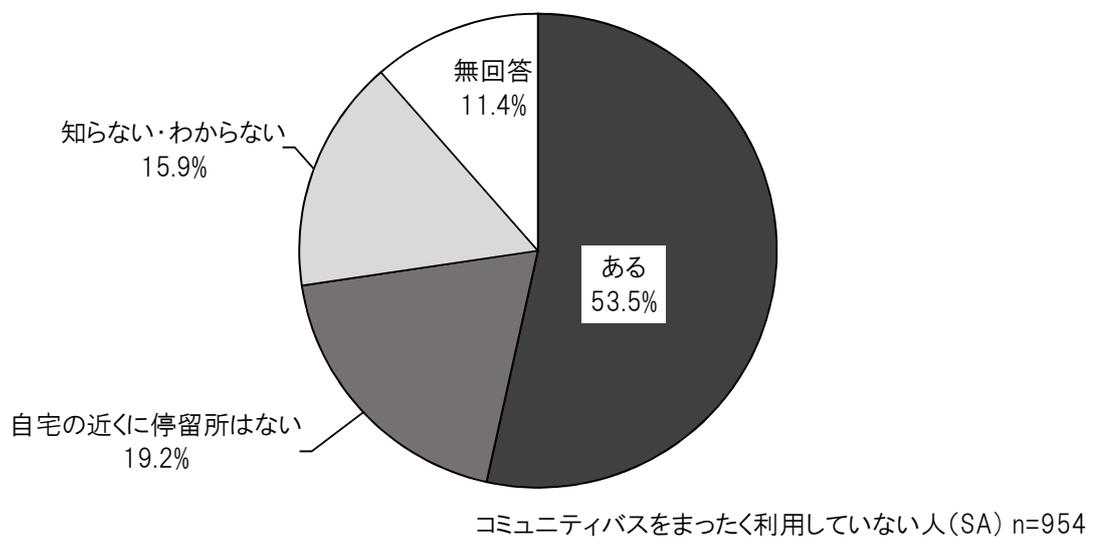
- ・税金負担と公共交通サービスの水準にあり方については、「適切な税金投入額・サービス水準」を選択する人（31.1%）が最も多く、「わからない」（28.2%）を上回っている。
- ・前回調査時点（2013年）では、「わからない（37.0%）」「適切な水準（29.1%）」であったことから、事業の適切性・理解が高まったと言える。



(7)コミュニティバス等を「まったく利用しない人」への設問

問7-1. あなたのお住まいの近くに停留所がありますか。(1つに○)

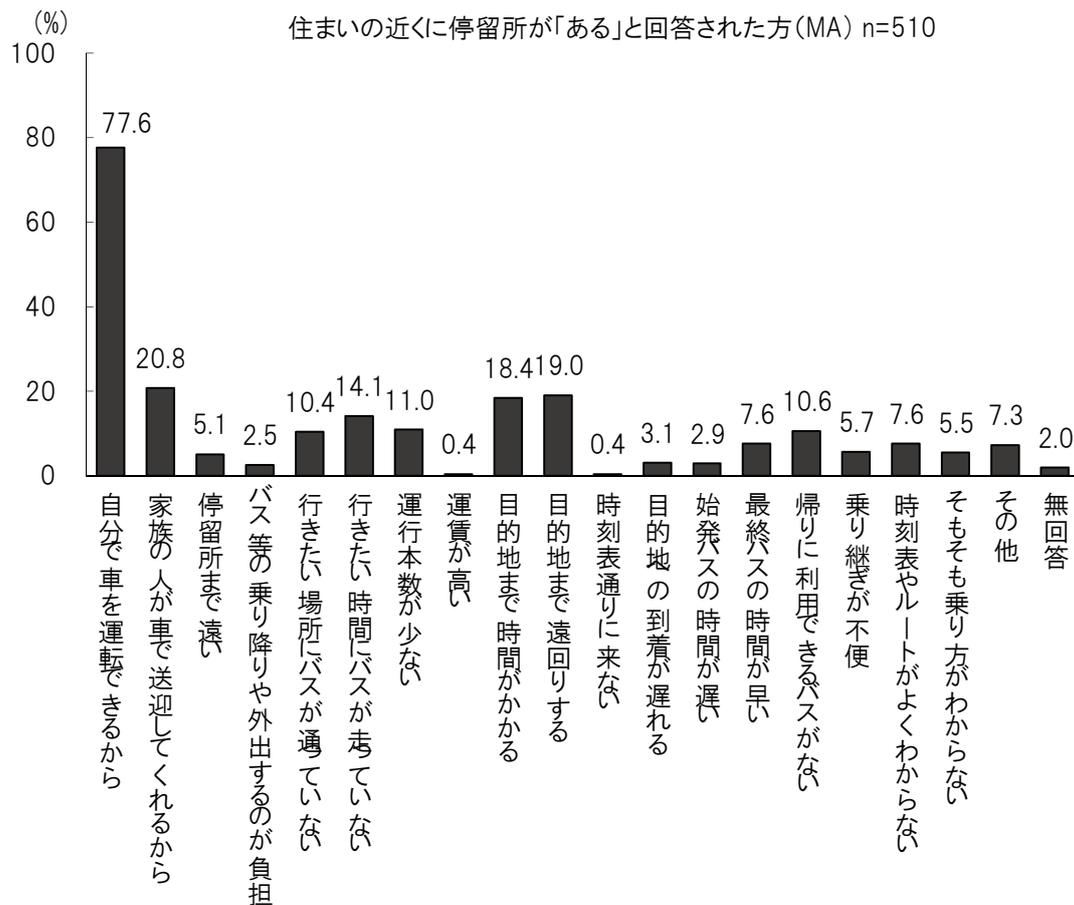
- ・コミュニティバスを「ほとんど又は全く乗らない」人(954人)を対象に確認した。
- ・停留所の有無については、「ある」との回答が53.5%。
- ・「自宅の近くに停留所がない」と存在を確認している人は19.2%で、停留所まで遠いという不便さが理由で使わないと考える人は、2割に満たない。



問7-2. 上記問7-1で、1を選択した人にお伺いします。

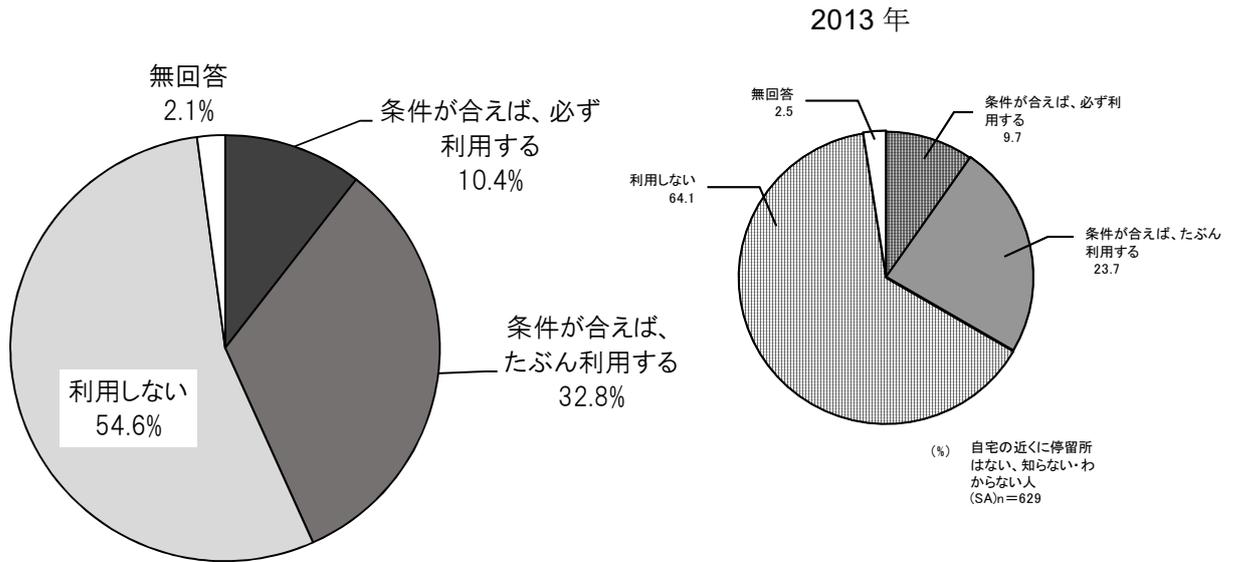
あなたが「コミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由」をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

・停留所が近くにあると回答している人の内、コミュニティバス等を利用しない理由は「自産んで車を運転できるから」(77.6%)が選択されており、自動車の利便性が上回っている。



問7-3. 上記問7-1で、2・3を選択した、近くに停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。自宅近くにコミュニティバスや接続タクシー等が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに○）

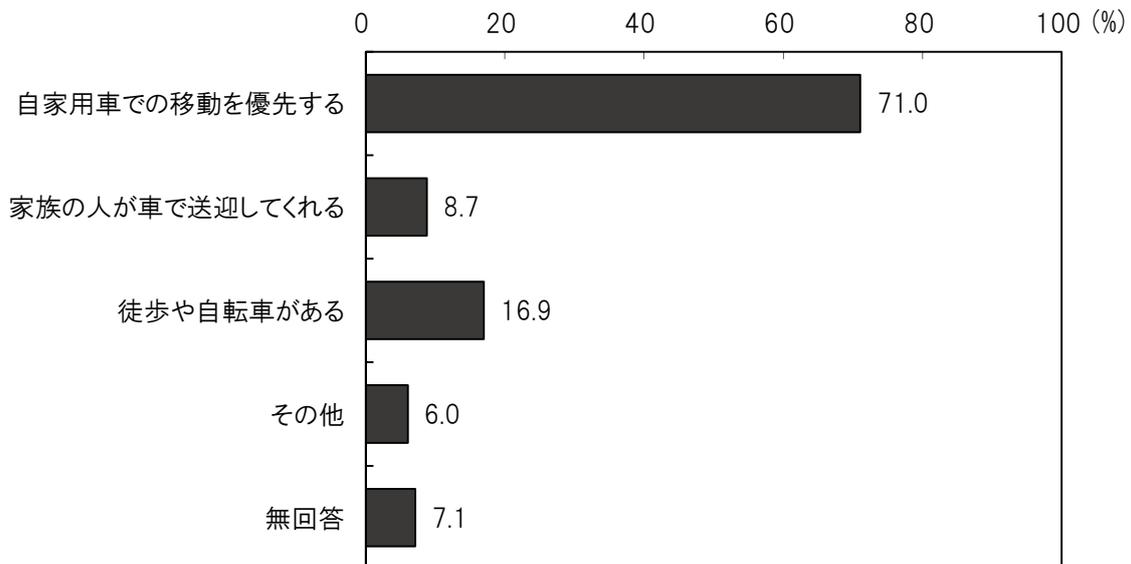
- ・自宅近くにコミュニティバス等が運行されたとしても「利用しない」との回答は54.6%であった。
- ・前回調査時点（2013年）では「利用しない」との回答が64.1%であったため、コミュニティバス等に対するハードルは低くなっていると言える。



「自宅近くに停留所がある」以外を回答された方(SA) n=335

【利用しない理由】

住まいの近くに運行された場合「利用しない」と回答された方(MA) n=183



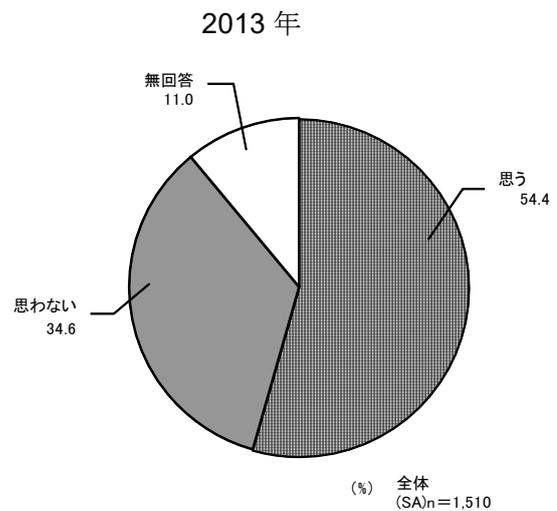
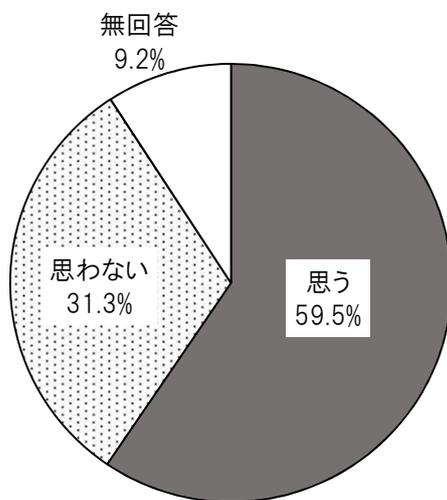
(8)公共交通の転換見通しについて

問8-1. コミュニティバス“ゆめころん”などの公共交通の維持のためには、たくさんの人に利用していただく必要があります。

(1) コミュニティバス等の維持のために、下記の示す利用であれば、公共交通を利用したいと思いますか。

① 自動車の排気ガスを減らす「環境対策」なら協力できる。(1つに〇)

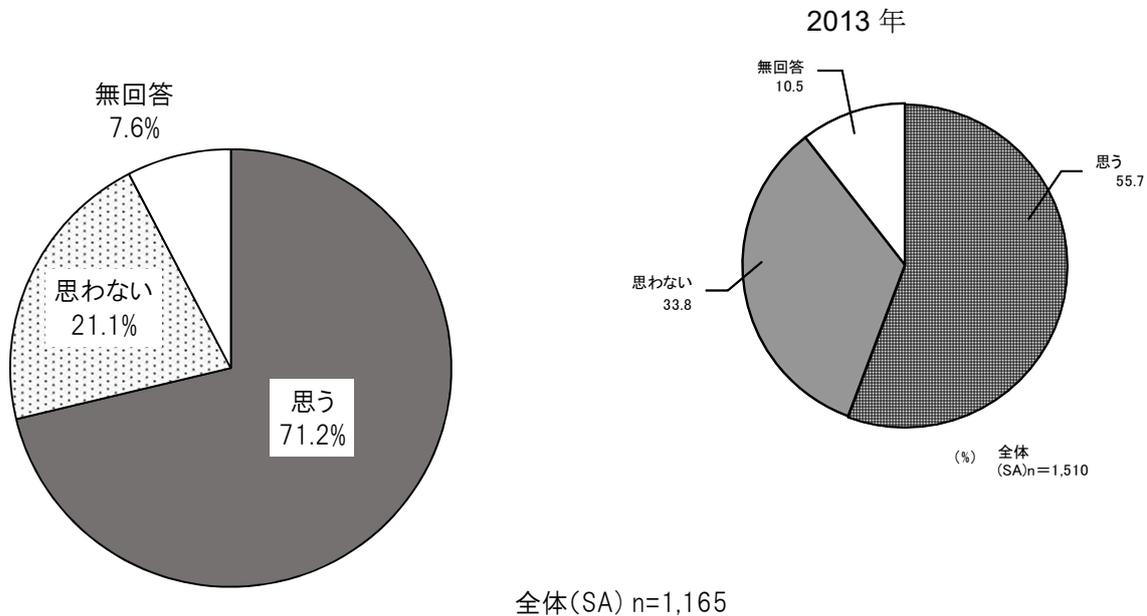
- ・「環境対策」での協力意向・「思う」との回答は59.5%。
- ・前回調査時点(2013年)では54.4%で、意識効果は少し上昇。



全体(SA) n=1,165

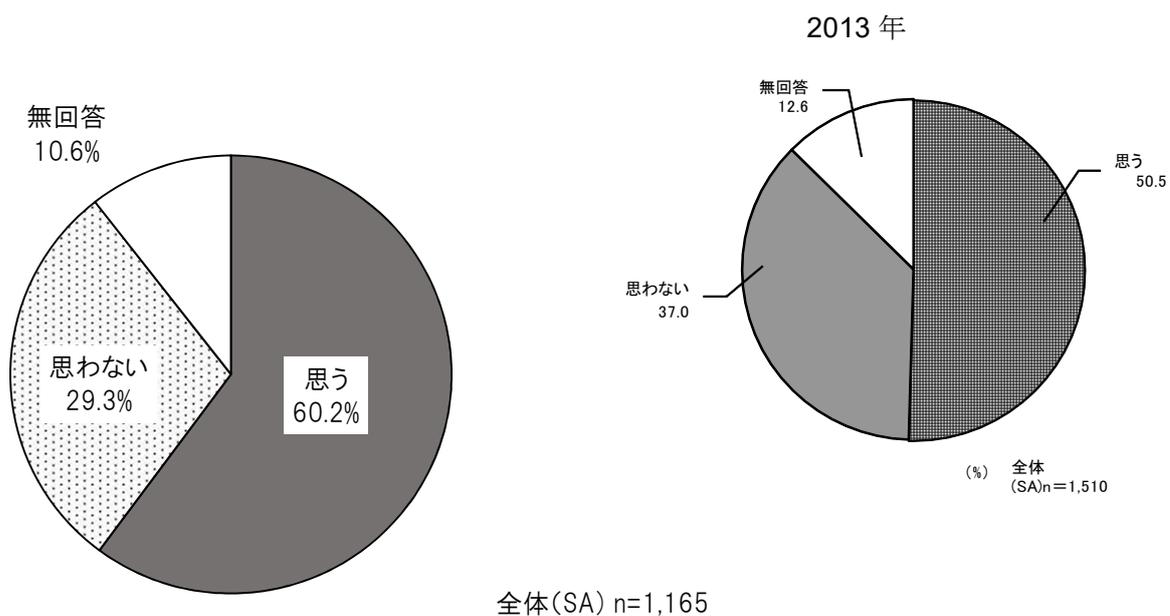
② 交通事故を減らす「交通安全対策」なら協力できる。(1つに〇)

- ・「交通安全対策」での協力意向・「思う」との回答は71.2%。
- ・前回調査時点(2013年)では55.7%で、意識効果は大きく上昇。



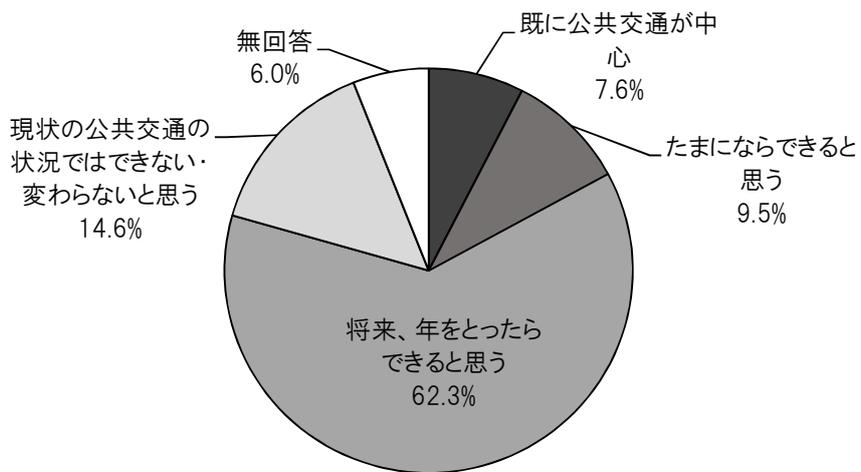
③ 車より歩く機会が増えるので「健康増進対策」なら協力できる。(1つに〇)

- ・「健康増進対策」での協力意向・「思う」との回答は60.2%。
- ・前回調査時点(2013年)では50.5%で、意識効果は大きく上昇。



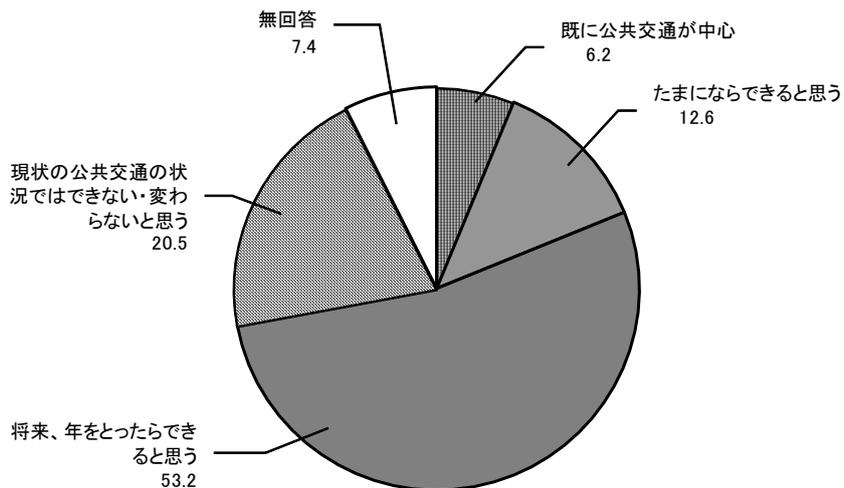
(2) あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？（1つに○）

- ・「将来、年をとったらできると思う」との割合が 62.3%。
- ・前回調査時点（2013年）では「将来できると思う」が 53.2%、「変わらない」が 20.5%であったため、転換に対するハードルは低くなっている。



全体(SA) n=1,165

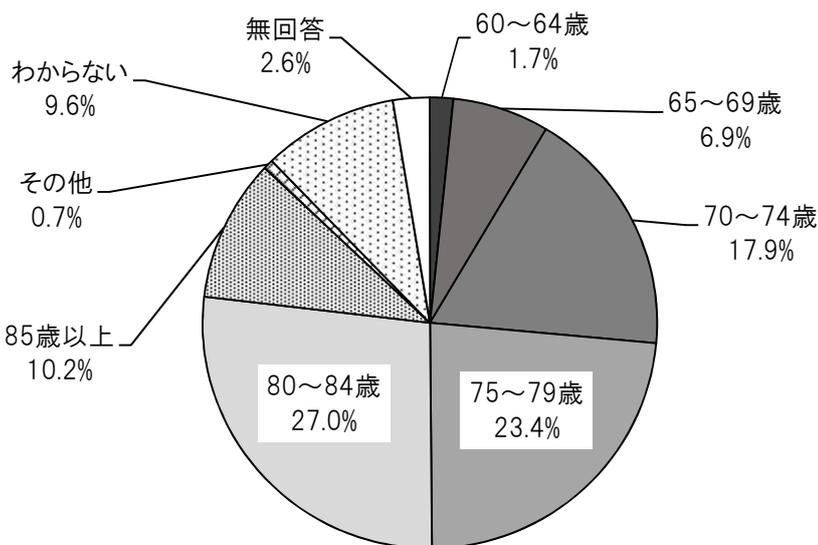
2013年



(%) 全体 (SA)n=1,510

- ・何歳になったら転換できるかを確認すると、各年代のピークは、60歳代は75～79歳、70歳代は80～84歳、80歳以上は80歳以上にピークがある。
- ・自動車免許証の更新時における高齢者講習が必要となる70歳以上が一つの目安になるが、実際に70歳代になっても、80歳まで公共交通中心の生活へ転換するとは回答していない。
- ・高齢者における早期の公共交通への転換が重要であると言える。

【何歳になったら公共交通に転換できると思いますか？】



「将来、年をとったらできると思う」と回答された方(SA) n=726

年齢別×公共交通中心の生活へ転換する年齢 クロス集計結果

		合計	Q8-1-(2)-1 交通機関中心の生活へ転換する年齢								わからない	無回答	非該当
			60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	その他				
	全体	726	12	50	130	170	196	74	5	70	19	439	
		100.0	1.7	6.9	17.9	23.4	27.0	10.2	0.7	9.6	2.6		
Q1-2 年齢	20歳未満	13	1	1	5	3	2	0	0	1	0	39	
		100.0	7.7	7.7	38.5	23.1	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0		
	20歳代	15	2	5	5	2	0	0	0	0	1	19	
		100.0	13.3	33.3	33.3	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7		
	30歳代	42	2	11	13	3	6	1	0	4	2	21	
		100.0	4.8	26.2	31.0	7.1	14.3	2.4	0.0	9.5	4.8		
	40歳代	78	3	14	30	15	4	1	1	7	3	25	
		100.0	3.8	17.9	38.5	19.2	5.1	1.3	1.3	9.0	3.8		
	50歳代	81	3	13	29	16	11	2	0	5	2	27	
		100.0	3.7	16.0	35.8	19.8	13.6	2.5	0.0	6.2	2.5		
60～64歳	89	1	4	29	31	11	2	0	9	2	39		
	100.0	1.1	4.5	32.6	34.8	12.4	2.2	0.0	10.1	2.2			
65～69歳	97	0	2	9	48	22	3	1	11	1	44		
	100.0	0.0	2.1	9.3	49.5	22.7	3.1	1.0	11.3	1.0			
70～74歳	131	0	0	4	35	62	12	0	13	5	53		
	100.0	0.0	0.0	3.1	26.7	47.3	9.2	0.0	9.9	3.8			
75～79歳	113	0	0	4	13	53	28	0	14	1	79		
	100.0	0.0	0.0	3.5	11.5	46.9	24.8	0.0	12.4	0.9			
80歳以上	60	0	0	1	2	23	23	3	6	2	89		
	100.0	0.0	0.0	1.7	3.3	38.3	38.3	5.0	10.0	3.3			
無回答	7	0	0	1	2	2	2	0	0	0	4		
	100.0	0.0	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0			

コミュニティバス“ゆめころん”についてのお知らせ

～公共交通に関するアンケート調査のご協力のお願い～

武豊町役場 総務部 防災交通課

日頃は武豊町の町政運営につきまして、深いご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

武豊町では、町民の皆様の生活の足として、コミュニティバス“ゆめころん”を平成22年7月から、接続タクシーを平成23年9月から運行しています。

今年10月1日からは、コミュニティバスのルート・ダイヤを見直し、新しいダイヤで運行しています。接続タクシーも運行事業者を増やし登録制に変更しました。

コミュニティバスや接続タクシーは、運行開始以降、随時見直しを行い、利用者数の増加に努めてまいりました。

コミュニティバスや接続タクシーを維持・改善していくためには、皆様のさらなる利用が最も効果的なのですが、利用が少ない停留所などは移設や廃止など、見直しの検討を行う必要があります。

そこで、コミュニティバスについて一度お考えいただくと共に、外出状況やコミュニティバス等に対する意向を調査することで、今後の見直しに向けた検討のための基礎資料として参考にさせていただきたいと考えております。

ご多忙のところ、誠に恐縮ですが、アンケートについてご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

また、アンケート票の取りまとめ作業は、下記業者に委託しておりますが、調査結果は統計的に処理するものであり、本調査の目的以外には使用しません。

趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

調査対象	町内に在住されている方から、年齢階層毎に無作為に抽出した約3,000名を対象としています。
お問合せ先	武豊町 総務部 防災交通課 担当：鳥居 TEL 0569-72-1111
入力・集計	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部 名古屋 研究開発部 担当：筒井 TEL 052-307-1103

○送付致しましたアンケートについて、ご本人様によるご回答が難しい場合などは、ご家族の方が代筆していただいても構いません。

○アンケートは全部で10ページです。最後までお答え下さいますよう、お願いいたします。

○同封しました返信用封筒に入れて、11月18日(月)までに投函してください。切手は不要です。

公共交通への財政投入状況

武豊町では、今年度の地域公共交通に係る事業の予算として約 2,908 万円を計上しています。1 世帯当たり（2019.5.1 現在 18,305 世帯）年間約 1,588 円の負担により維持していることとなります。

参考として、広報たけとよ（2019.4.1）で配布・掲載しました「平成31年度 予算の主な事業」を添付しています。地域公共交通以外にも、さまざま事業を実施しますので、こうした事業費を参考に、ご回答ください。

平成31年度の主な事業を紹介します



●:新規事業 ○:継続、周期事業

ともに創るまち

○協働推進事業

259万6千円



地域課題の解決に向けた団体の活動を応援します。また住民自治や協働について、住民と職員がともに学ぶ連続講座を開催します。

31年度は「リーダー養成編」として、協働のまちづくりの担い手を育成します。

安全に暮らせるまち

●ハザードマップの作成

2,961万2千円



災害時における人的被害を最小限に抑えるとともに、住民自らが何をすべきか普段から考えていただくことを目的に、自然災害による被害を予測し、その被害想定を地図上に示した「ハザードマップ」を作成します。

子どもが健やかに育つまち

●妊娠8か月サポートコール事業 94万8千円

●産後ケア事業 24万5千円



妊娠8か月の妊婦に対して電話をかけ、出産前の精神的な支援や相談をするサポートコール事業や、出産直後から4か月までの母子を対象に、心身のケアや育児サポートを行う、産後ケア事業を実施します。

いきいきと暮らせるまち

○予防接種事業

1億2,171万2千円



感染症予防のため、予防接種法に基づき各種予防接種を実施します。31年度では、風しんの抗体保有率が低いとされる年代の男性に対して、風しんワクチン抗体検査や予防接種を実施します。

自然環境と生活環境が調和したまち

○省資源対策事業

1億3,480万4千円



紙類・草・枝・木製粗大ごみ等、今まで燃やされていた資源を再利用できる環境を整え、利便性の向上を図ることで、可燃ごみの減量を進めます。

活気に満ち誇りを持てるまち

○町制65周年記念事業

6,543万5千円



武豊町は本年10月5日をもって、65周年の節目の年を迎えます。この節目の年をみなさんとともに祝い、「心つながりみんな輝くまち武豊」の実現へ向け、官民一体となって記念事業を推進し、町の魅力を発信します。

公共交通に関するアンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？	1: 男性 2: 女性
年齢は？	1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75～79歳 10: 80歳以上
お住まいは？	1: 北山 2: 中山 3: 下門 4: 馬場 5: 市場 6: 上ヶ 7: 小迎 8: 玉東 9: 玉西1 10: 玉西2 11: 原田 12: 緑 13: 大足 14: 富貴 15: 富貴市場 16: 東大高 17: 市原 18: 新田 地区名が分からない場合 ご自宅の住所の字名を記入 (番地は記入不要です) <input style="width: 200px; height: 30px;" type="text"/>
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生・生徒 7: 無職 8: その他 (_____)
自動車免許はお持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない
自家用車はお持ちですか？	1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない
外出(通勤・通学含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1: 1週間のほぼ毎日 | 2: 平日はほぼ毎日 | 3: 週に3～4日 |
| 4: 週に1～2日 | 5: 1ヶ月に数日 | 6: 年に数日 |
| 7: その他 | | |

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

	外出する頻度は？ (1つに○をつけてください)	その時の「交通手段」は？ (該当するすべての番号に○をつけてください)
問(1) 「通勤・通学」 の場合	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問(2)へ)	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: コミュニティバス 7: 接続タクシー 8: 鉄道(名鉄) 9: 鉄道(JR) 10: その他()
問(2) 「買い物や 娯楽」 の場合	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問(3)へ)	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: コミュニティバス 7: 接続タクシー 8: 鉄道(名鉄) 9: 鉄道(JR) 10: その他()
問(3) 「病院や 福祉施設」を 利用する場合	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (4頁の問3へ)	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: コミュニティバス 7: 接続タクシー 8: 鉄道(名鉄) 9: 鉄道(JR) 10: その他()

「目的地」はどこですか？ 施設の名前・場所を教えてください		外出の「時間帯」は？	
施設等の名前	場所	出発の時間帯	帰宅の時間帯
1: 勤務場所 2: 学校（高校・大学等） 3: その他 ()	1: 武豊町内 2: 半田市 3: その他知多地域 4: 名古屋市 5: その他 ()	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: 20時台 11: その他 () 時
複数ある場合はこちらに記入 ()	()	()	()
1: MEGAドンキ武豊店 2: コミヤ武豊店 (タック21) 3: イハラフード 武豊店 4: アオキ-パ-武豊店 5: イオン半田市 6: その他 ()	1: 武豊町内 2: 半田市 3: その他知多地域 4: 名古屋市 5: その他 ()	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: 20時台 11: その他 () 時
複数ある場合はこちらに記入 ()	()	()	()
1: 石川病院 2: 杉石病院 3: 榊原整形外科 4: 半田市立半田病院 5: その他 ()	1: 武豊町内 2: 半田市 3: その他知多地域 4: 名古屋市 5: その他 ()	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: 20時台 11: その他 () 時
複数ある場合はこちらに記入 ()	()	()	()

問4-2. 武豊町内の「接続タクシー(コミュニティバスに接続するタクシー)」についてお伺いします。

(1)あなたは「接続タクシー」を知っていますか？ (1つに○)

- 1: 利用方法も含めて知っている 2: 利用方法は知らないが、名前は知っている
3: 知らない  (問5-1へ)

(2)あなたは「接続タクシー」をどの程度利用されますか？ (1つに○)

- 1: 週に3日以上 2: 週に1~2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど又は全く乗らない

問5. コミュニティバスの事業実施効果についてお伺いします。

問5-1. 平成22年7月から「武豊町コミュニティバス」の運行を開始しました。開始以降、随時運行内容を見直し、今年度10月にもルート・ダイヤを変更しています。

(1)「コミュニティバスや接続タクシー」の運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。

選択肢の中から、あてはまる番号を全て選んでください。 (すべてに○)

- 1: 新しい交通手段を利用できる環境が確保され、「便利」になったと思う
2: 安全に移動できる環境が確保され、「安心感」を持つことができたと思う
3: バス交通が無い交通空白地域だった時と比べて、生活の質が「豊かになった」と思う
4: 何も変わらない
5: わからない

(2)「コミュニティバスや接続タクシー」などの運行をきっかけに、あなたの生活の中で、外出する機会が増えましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。

(1つに○)

- 1: 外出する機会が増えた 2: 何も変わらない
3: わからない 4: その他 ()

(3)「コミュニティバスや接続タクシー」などの運行をきっかけに、あなたの生活の中で、移動手段・行動について変化がありましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。 (1つに○)

- 1: 地域公共交通を積極的に利用するようになった 2: 何も変わらない
3: わからない 4: その他 ()

問6. 武豊町の地域公共交通事業(バス等)についてお伺いします。

問6-1.

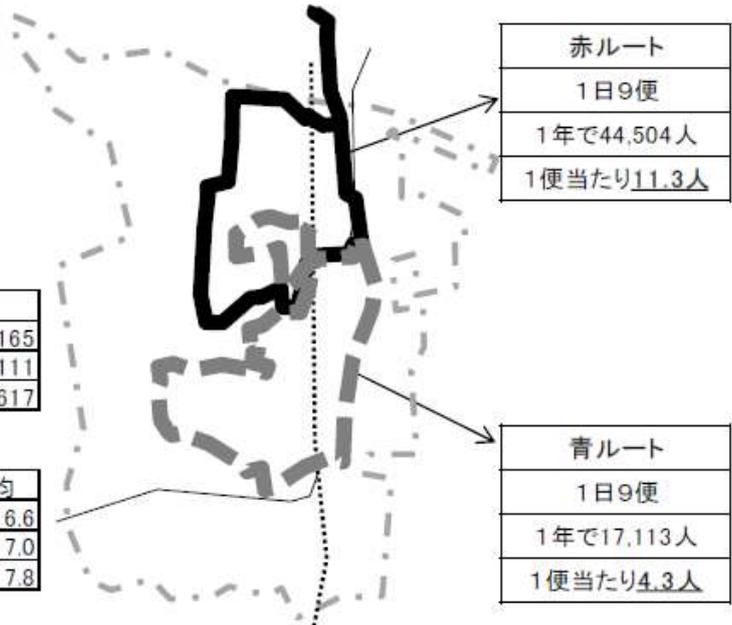
「コミュニティバス」は、赤・青の2つのルートからなります。2台のバスを投入してそれぞれ9便ずつ運行していますが、ルートにより利用者数に偏りがあります。

利用者数 (単位:人)

	赤	青	合計
H28年度	36,099	16,066	52,165
H29年度	39,320	15,791	55,111
H30年度	44,504	17,113	61,617

1日1便当たりの乗車人数 (単位:人/便)

	赤	青	全体平均
H28年度	9.1	4.1	6.6
H29年度	9.9	4.0	7.0
H30年度	11.3	4.3	7.8



- (1)現状は、赤・青ルートそれぞれに、車両を投入して、それぞれ9便ずつ運行していますが、赤ルートの利用者数が多く、青ルートの利用者数が少ない状況となっています。特に「赤ルート」は1便当たりの利用者数は11.3人/便で、午前中の2便は乗車定員近郊の利用となっています。ますます利用が増えることで、乗れない人が生じる可能性があり、何らかの対策を講じる必要があります。この見直しを行うことについて、あなたは、お考えに最も近いものを1つお選びください。(1つに〇)

- 1: 青ルートの運行本数を減らし、赤ルートの本数を増やす
- 2: 現状よりも定員数の多い大きな車両に変更する
- 3: かなりの費用増になるが、運転手・車両を追加して便数を増やし、利用を分散化させる
- 4: わからない
- 5: その他 (_____)

- (2)コミュニティバスが運行できない地区については、「接続タクシー」を導入して、交通空白のない、どこでも公共交通が利用できる環境を確保しています。しかしながら、「接続タクシー」は、一部では最近全く利用されていない停留所が存在します。利用者の少ない接続タクシーのルートの見直しをどうお考えですか？(1つに〇)

- 1: ルートの廃止・見直しは賛成
- 2: 現状のまま変更しない。見直しは反対
- 3: わからない
- 4: その他 (_____)

問6-2.「コミュニティバスや接続タクシー」の利用を促すために、これまでさまざまな取り組みを行ってきました。

(1)コミュニティバスの利用者が増加することで、乗降に係る時間を要することから、ダイヤとルートの見直しを行いました。

令和元年10月1日から、赤・青ルートのダイヤ変更と、青ルートのルートの見直しを行ったことについて、この変化をご存知でしたか？（1つに○）

1: 知っていた

2: 知らなかった

(2)最近、高齢者が運転する自動車の事故が多く発生していることを踏まえ、「コミュニティバスや接続タクシー」の利用料金について、1乗車・1回「100円」を、70歳以上の方と65歳以上で運転免許証の自主返納をした方に対しては、無料乗車券を発行しています。この事業についてご存知でしたか？（1つに○）

1: 知っていた

2: 知らなかった

(3)これまで、「コミュニティバスや接続タクシー」の利用を促すために、住民団体や町により、さまざまな取り組みを行ってきました。

下記の選択肢のなかで、知っている取り組みがありましたら、あてはまるものすべてに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

1: GoogleMap など、インターネット上でダイヤ検索ができる

2: 住民団体（コミュニティバス利用促進友の会・生活の足を考える会）が実施するイベントで利用した・利用方法を知った

3: 産業まつりのコミバス無料の日・のりものフェスティバル

4: 町が発行する時刻表やホームページを見たことがある

5: オリジナルソング「ゆめころんのうた」を聞いたことがある・動画を見たことがある

6: 町内保育園の出張訪問を通して（子どもから聞いたことがある）

7: その他（）

(4)コミュニティバスや接続タクシーに関する取り組みを進めることで、今後、あなたのこれらバス・接続タクシーの利用(頻度)については、変化しますか？（1つに○）

1: 増えると思う

2: 減ると思う

3: 今の利用状況から変化しないと思う

4: 利用しないと思う

武豊町では、今年度、コミュニティバスや接続タクシー等の事業予算として約 2,908 万円を計上しています。この金額は1世帯当たりでは年間約1,590 円の負担となります。参考として、コミュニティバスの利用状況や平成 31 年度武豊町の実施事業予算(広報たけとよ(2019.4.1)での主な事業内容)資料を添付しました。施策への事業費(税金投入)状況をご覧いただき、次の質問にご回答ください。



- コミュニティバスの利用者数はこれまで増加しています。
- 運賃収入の増加以上に、運転手の人手不足から人件費の高騰があり、収支率(運賃収入÷運行経費)は38%と低い状況です。

問6-3. 「コミュニティバスや接続タクシー」を維持するために 1 世帯当たり年間約 1,590 円(月あたり 132 円)程度の負担をしています。この負担額を、どう思いますか? (1つに〇)

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問6-4. 今後の『税金負担』と『公共交通サービスの水準(運行方法、運賃設定や運行本数等)』のあり方について、どのように考えるべきですか? (1つに〇)

- 1: 現状は妥当な税金投入額・サービス水準である
- 2: 今以上の税金投入を行い、運行時間を延長して遅くまで運行してほしい
- 3: 今以上の税金投入を行い、車両を増やし運行本数を増やしてほしい
- 4: 運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
- 5: 運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい(サービス水準は現状維持)
- 6: サービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい
(使い勝手が悪くなり利用者が減ることで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある)
- 7: わからない
- 8: その他 ()

問7. コミュニティバス等を「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

※コミュニティバスや接続タクシーを利用する人（当てはまらない人）は、次の問8にお進みください。

問7-1. あなたのお住まいの近くに停留所がありますか。（1つに○）

- | | | |
|-----------------|-----|-------------|
| 1: ある | → | 問7-2を回答ください |
| 2: 自宅の近くに停留所はない | } → | 問7-3を回答ください |
| 3: 知らない・わからない | | |

問7-2. 上記問7-1で、1を選択した人にお伺いします。

あなたが「コミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: 停留所まで遠い | 4: バス等の乗り降りや外出するのが負担 |
| 5: 行きたい場所にバスが通っていない | 6: 行きたい時間にバスが走っていない |
| 7: 運行本数が少ない | 8: 運賃が高い |
| 9: 目的地まで時間がかかる | 10: 目的地まで遠回りする |
| 11: 時刻表通りに来ない | 12: 目的地への到着が遅れる |
| 13: 始発バスの時間が遅い | 14: 最終バスの時間が早い |
| 15: 帰りに利用できるバスがない | 16: 乗り継ぎが不便 |
| 17: 時刻表やルートがよくわからない | 18: そもそも乗り方がわからない |
| 19: その他（ _____ ） | |

問7-3. 上記問7-1で、2・3を選択した、近くに停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。

自宅近くにコミュニティバスや接続タクシー等が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに○）

- 1: 条件が合えば、必ず利用する
- 2: 条件が合えば、たぶん利用する
- 3: 利用しない

※利用しない理由は？

- ア) 自家用車での移動を優先する
- イ) 家族の人が車で送迎してくれる
- ウ) 徒歩や自転車がある
- エ) その他（ _____ ）

問8. 公共交通の転換見通しについてお伺いします。

問8-1. コミュニティバス“ゆめころん”などの公共交通の維持のためには、たくさんの方に利用していただく必要があります。

(1) コミュニティバス等の維持のために、下記の示す利用であれば、公共交通を利用したいと思いませんか。

① 自動車の排気ガスを減らす「環境対策」なら協力できる。 (1つに〇)

1: 思う 2: 思わない

② 交通事故を減らす「交通安全対策」なら協力できる。 (1つに〇)

1: 思う 2: 思わない

③ 車より歩く機会が増えるので「健康増進対策」なら協力できる。 (1つに〇)

1: 思う 2: 思わない

(2) あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？ (1つに〇)

1: 既に公共交通が中心

2: たまにならできると思う

3: 将来、年をとったらできると思う

※何歳になったら公共交通に転換できると思いますか？

ア) 60～64歳 イ) 65～69歳 ウ) 70～74歳 エ) 75～79歳

オ) 80～84歳 カ) 85～89歳 キ) その他(歳)

ク) わからない

4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

以上でアンケートは終了です。

公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、令和元年11月18日(月)までに投函してください。